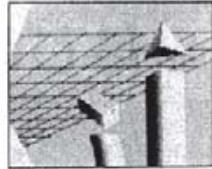


# モノグラフ・高校生'91

vol.32 親(おや)性—人とかかわる暖かさをどう育てるか—



東京学芸大学教授 深谷和子

埼玉県立小川高校教諭 三枝恵子

## 目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 本報告書の要約                            | 2  |
| 第Ⅰ章 母性・父性から親（おや）性へ                 |    |
| 1. 「親（おや）性」のコンセプトをめぐって             | 6  |
| 2. 「親（おや）性」の構成要素                   | 7  |
| 3. 調査概要                            | 9  |
| 第Ⅱ章 母親の中にある「親（おや）性」                |    |
| 1. サンプルの概要                         | 10 |
| 2. ライフ・スタイル                        | 11 |
| 3. 自分の育った家族（定位家族）                  | 14 |
| 4. 母親としての自分                        | 19 |
| 5. 「親（おや）性」をめぐって                   | 22 |
| 第Ⅲ章 高校生の中の「親（おや）準備性」               |    |
| 1. サンプルの属性                         | 30 |
| 2. 子どもたちの中にある結婚                    | 32 |
| 3. 家族——父と母と自分                      | 37 |
| 4. 高校生の中にある「親（おや）準備性」              | 43 |
| 第Ⅳ章 「親（おや）性」と「親（おや）準備性」——まとめに代えて—— |    |
| 1. 親になる日を視野に入れて                    | 58 |
| 2. 「親（おや）性」とセルフ・エスティーム             | 59 |
| 資料 1 調査票見本                         | 62 |
| 資料 2 基礎集計表                         | 70 |
| 資料 3 調査票見本および集計結果（幼稚園・小学生低学年の母親用）  | 78 |
| 資料 4 調査票見本および集計結果（高校生の母親用）         | 88 |

※おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとは一切関係ありません。

# 本報告書の要約



## ① 「親（おや）性」と「親（おや）準備性」

このレポートは、男女共同参加型社会を迎えて、従来の「母性・父性」に代えて「親（おや）性」という語を使用してゆくことの意味と、そのメンタリティの構造を分析し、あわせて親になる前の子どもたち（この場合は高校生）の中に、多少ともそのメンタリティーを育ててゆくことが必要ではないか、という視点のもとに調査が行われ、レポートが作成された。

## ② サンプル

高校生（女子650名、男子423名）とその母親（40代前半が半数）515名、さらに母親群として幼稚園児・小学校低学年児の母親（30代が75%）704名、計2,292名を対象に、1990年9月から1991年2月にかけてアンケート調査が行われた。

## ③ 家事・育児の好き嫌い

高校生の母親について言えば、育児より家事（洗濯、掃除、料理など）のほうがやや好まれており、また家事は高校生の母親（40代前半が中心）より若い世代（30代がほとんどの、幼稚園児・小学校低学年児の母親）のほうが好きでなくなる傾向にある（p.12 図II-2・p.13 図II-3）。

## ④ 性役割受容

「生まれ変わったら、また女性に」と考える女性役割の受容率は、若い世代の母親（71%）、高校生の母親（60%）、女子高校生（55%）の順になっている。幼い子どもを育てている期間は、女性役割への適応が生まれるのだろうか（p.13 図II-5）。

## ⑤ 両親評価

高校生も母親も、自分の両親についての評価は「一生懸命働いていた」が最上位であり、また母親が「子どもに献身的だった」とする者の割合は、若い世代ほど減少する（とてもそうだったと考える者の割合は、高校生の母親 59%、若い母親 55%、女子高校生 39%）（p.15 図II-7・p.16 図II-8）。

## ⑥ 母親の（母親としての）自己評価

自分を平均以下の母親と評価する者は、高校生の母親ではわずか15%だが、若い母親は31%、加齢とともに自己に適応し、子どもにも受容性が増すのだろうか（p.20 図II-13）。同様に、「（まあまあを含めて）自分を好き」とする者も、高校生の母親は83%だが、若い母親は74%。女子高校生は49%となっている（p.21 図II-14）。

## ⑦ 人を好きか

最も好きな人は「自分の母親」であり、次いで「父親」「夫」「自分」の順序である（p.21 図II-15）。この順序は若い母親も変わらない（巻末、集計結果）。また高校生も（夫と子どもを除いて）同様である。

## ⑧ 子ども（一般）が好きか

「とても・わりと好き」な母親は、高校生の母親では65%だが、若い母親では57%とやや低下する（p.22 図II-16）。

## ⑨ 子どもとの接触経験

子ども時代、赤ん坊や小さな子どもの世話をした経験は、高校生の母親より若い母親世代のほうが大きく減少している（p.28 図II-18）。

## ⑩ 子どもへの関心をめぐって

自己受容の高い者（自分が好きな者）ほど赤ん坊や小さな子どもへの関心が高い（p.24 表II-3）。

## ⑪ 援助性をめぐって

社会的安定感の高い者のほうが、他人を援助しようとする動機が強く（p.25 表II-5）、また高校時代の成績がよくない者、あるいは中卒者に援助性の高い傾向がみられる（p.26 表II-6）。

## ⑫ 育児と生きがい

「両親にとって自分を育てることが人生の生きがいだったか」については、母親群に比べ高校生は否定的となる（p.19 図II-11）。

## ⑬ 高校生の結婚したい年齢

25歳までとする者は女子で72%、男子で36%。とくに女子高校生にとって結婚は、至近距離にある出来事と意識されており、それに対する「準備」が教育のプログラムの中にもっと用意されるべきだろう（p.32 図III-1）。

#### ⑭ 高校生の人生設計

出産後も仕事を続けたい（妻に続けさせたい）とする者は女子で13%、男子で7%とわずかであり、人生を闘う意欲が低下してきているのだろうか（p.34 図III-2）。

#### ⑮ 子どもとの接触体験と関心

女子高校生と男子高校生では大きな差があり、それが結婚後の「男女共同参加型育児」をはばむものとならないだろうか（p.45 図III-9）。同様に子どもへの関心にも大きな開きが見いだされる（p.47 図III-10）。

#### ⑯ 母親評価

自分の母親を平均以下とする者は、女子高校生で12%、男子高校生で14%と低く、母親の15%とほぼ等しくなっている（p.40 表III-8）。

#### ⑰ 自己受容と他者受容（高校生）

自分を好きな者ほど、母親が好きであり（p.42 表III-12）、男子は成績がよい者ほど母親が好きである。女子は成績下位の者が、母親をより嫌いである（p.43 表III-13）。

#### ⑱ 自己受容と子どもへの関心

女子高校生は、子どもへの関心がない者に自分が好きな者が多く、子どもに関心のある者には自分が嫌いな者が多い。男子には両者に関連がない（p.49 表III-16）。

#### ⑲ 援助性をめぐって

男子高校生は、成績上位の者に援助性が高いが、女子はとくに関連がない（p.51 表III-20）。また自己安定感の高い者ほどやや援助性が高い傾向が見いだされる（p.52 表III-21）。また女子は自己受容の高い者が、やや援助性の高い傾向が見いだされる（p.53 表III-22）。

#### ⑳ 自己受容と自己安定感

自分が好きな者ほど、自己安定感が高い（p.56 表III-25）。

#### ㉑ 人間への感情と「親（おや）性」

以上のデータから総合すると、われわれの扱ってきた「親（おや）性」とは、結局「他人への暖かい関心」とでもまとめられるのではないかだろうか。表IV-1（p.60）、表IV-2（p.61）が示すように、それは自己の成熟性、すなわち「社会的・個人的安定感」に支えられて生み出されるものかもしれない。

## ② 結論

多くの高校生が親になる日は、彼らの人生設計の中では、それほど遠い日のことではない。とすれば、とくに心理的な「親への準備性」を視野に入れた教育の機会が、発達段階を追って用意される必要があるのではないか。

育児や子育ての「技術」は生涯学習のプロセ

スの中で、必要に応じて学習機会が用意されればよいが、その基本となるメンタリティー「親（おや）性」は、幼少期から人間への関心、幼い者や弱者へのいたわりや援助行動として、自然な形で身につけられてゆくような教育的配慮が必要ではなかろうか。

### 〔調査概要〕

対象●東京・千葉・埼玉の公立高校生1,073名  
(男子423名、女子650名)  
東京・埼玉の公立・私立の幼稚園・小学生低学年の母親704名  
東京・千葉・埼玉の公立高校生の母親515名

時期●1990年9月～1991年2月

方法●学校通しによる質問紙調査

### 〔サンプル構成〕

(人)

|                   | 女子    | 男子  | 合計    |
|-------------------|-------|-----|-------|
| 高校生               | 650   | 423 | 1,073 |
| 幼稚園・小学生<br>低学年の母親 | 704   | —   | 704   |
| 高校生の母親            | 515   | —   | 515   |
| 合計                | 1,869 | 423 | 2,292 |

### 〈執筆分担〉

深谷和子(東京学芸大学教授)………第I、II、IV章  
三枝恵子(埼玉県立小川高校教諭)………第III章

# 第Ⅰ章 母性・父性から親(おや)性へ



## 1. 「親(おや)性」のコンセプトをめぐって ——

最近『母性という神話』(E.バタンデール、鈴木晶訳、筑摩書房)が出版された。ただし、これは1981年『プラス・ラブ』というタイトルでサンリオから出版され、絶版になっていた訳本の日本語のタイトルを改題した復刊本だとあとがきにある。著者によれば、子どもは母性的配慮と世話をなしには生存も成長もできない。しかし、その配慮や世話がすべての母親にできるとは限らない、としており、母性愛は本能ではなく母親と子どもの間で育ててゆくものだ、という当時(1980年)にしてはショッキングなテーゼの故に超ベストセラーとなったという。

しかし、母親的配慮や世話は何も生みの母

親または女性だけのものではないと、現代では多くの人びとが知っている。そうしたいわば「人とかかわる際に発揮される愛」は、父親と子どもの間でも、また隣人と子どもも、保母と子どもも、教師と生徒(学生)、さらには友人どうしや夫婦の間でも、時間をかけて作り出されてゆくものではなかろうか。こうした愛の姿を「母性」や「父性」という、いわば性役割(sex role)を意味する語で、使い分ける必要があるだろうか。昔のように性役割が厳しく両性の上に割りふられて、男性はピンクのシャツを着ることができず、女性一人ではビヤホールに入ることすらひんしゅくを買った時代ではいざ知らず、性役割が日を追っ

て稀薄化している現代にあって、母性・父性の語は存在理由を失ったも同然ではなかろうか。

しかし子どもはいつの時代も、他の動物の仔そのままに、無力で保護とケアを必要とする状態で生まれてくる。それをだれかが保護し長期間にわたってケアし続けなければならない。そうした作業の際に必要な心的特性や態度を仮に「親（おや）性」と名づけてみたらどうだろう。これがまず、われわれの提案である。

この語を使い出す前に、筆者の一人深谷は、1980年、厚生省の母子間相互作用研究班（代表 小林登東京大学教授）のメンバーとして、慶應大学（小児科）の岩田崇氏、東京学芸大学の井上義朗氏と共に「親準備性」という語を使用して、3年間にわたる調査研究を行った経緯がある。結婚し親となる日を目前にしている大学生や高校生の中に、親になる日に備えた心的態度的特性がどのくらい育っているか、がそのテーマであった。性や結婚やライフ・スタイルや子どもへの態度を中心に、か

なり大がかりな調査が行われたが、そのテーマをそれ以後継続させなかったのは「何を親になるためのレディネス（準備性）として指定したらよいか」に行きづまつたためである。

そして、数年前から筆者の一人深谷は、このテーマを再度掘り起こすことを始め、それが東京学芸大学大学院生大塚礼子の修士論文『親準備性の構成要素に関する研究』という形でまとめられた。

そして今回のモノグラフ・高校生'91『親（おや）性一人とかかわる暖かさをどう育てるか』は、その結果をふまえながら行われたものである。

ここでの「親（おや）性」とは、生みの親の子に対する心的態度がいちばんわかりやすい例だが、単に親子という関係を越えて、人と人との間に生み出される暖かい関係、それに要する心的態度を指すものとしたい。いわば幼い者、弱い立場の者にとって暖かい社会をつくり出すために、われわれの中に備えるべきもの——それを「親（おや）性」のコンセプトと考えている。

## 2. 「親（おや）性」の構成要素

大塚礼子は、その修士論文『親準備性の構成要素に関する研究』の中で「親準備性」を「情緒的・態度的・知識（技術）的に親の役割を果たすために十分なレディネス」という概念規定を行っている。われわれはその中で、知識（技術）的部分を除き、主として心的態度を抜き出して「親（おや）性」のコンセプトとした。子どもを育てる際に必要な知識的技術的側面は、親となった後の生涯学習の過程で学ぶことができる。しかし、子どもや幼い者（他人）を「かわいい」とか、弱い立場の者を「かわいそう」、そしてそのために「何か自分がしてやりたい」という心的態度や行動を生み出すことは、（成人後、人とのかかわり合いの経験の中で、または親になった後で

学習する部分もあるが）基本的には、子どもの社会化の過程の中で、社会化の柱の1つとして、われわれおとなたちが育ててゆかなければならない側面であろう。

再び大塚の論文に戻れば、「親（おや）性」の構成要素としては、

子どもへの関心  
援助性  
情緒の安定性  
自己受容

が抽出されている。詳しい手続きは省略するが、大塚は三枝恵子の協力のもとに、幼児と小学校低学年児をもつ母親704人を対象に、「母親としての自己評価」と「子どもへの満

尺度（健康・学力・性格・しつけ）」を得点化し、これを用いて、上位および下位より25%ずつを抜き出して、これを仮に「親（おや）性」の高い親、低い親と名づけ、両群のもつ条件を比較検討した。その結果見いだされたのが、先に述べた4つの構成要素であり、さらにその構成要素に関連すると思われる条件が図I-1のように図示されている。

本調査研究は、大塚のデータをもとに、さらに高校生（男子・女子）、高校生の母親に調査を広げ、「親（おや）性」の内容や発達的変化を比較検討しようとしたものである。

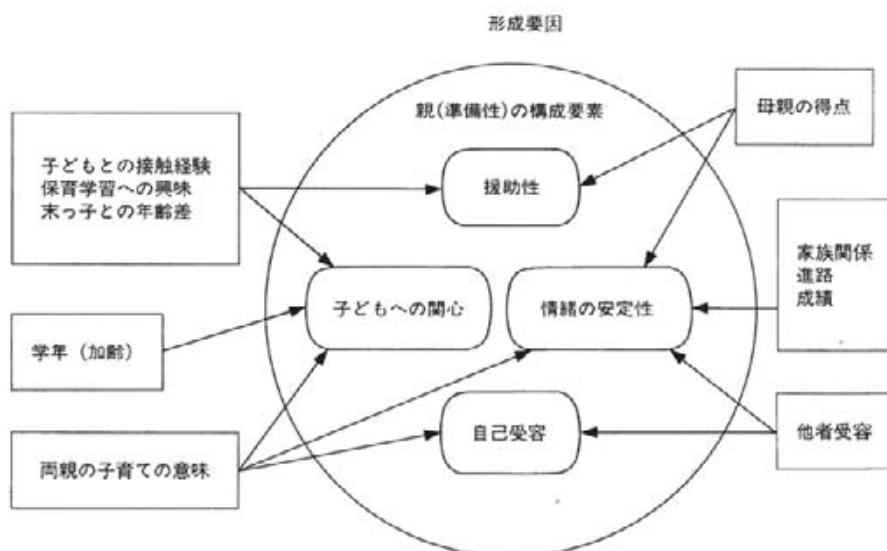
ただし、「親（おや）性」のコンセプトおよび、その検証のために使用した項目については、今後さらに検討の必要があると考える。たとえば、臨床心理学には人格の「成熟性」というコンセプトがある。これに関連した先行研究をまとめてオルポート（Allport,G.W.

1963）は、「成熟した人格」として、次のような6つの基準を挙げている。

1. 自己意識（sense of self）の拡大
2. 他人との暖かいつながり
3. 情緒安定、自己受容
4. 現実的な知覚・技術
5. 自己の対象化（洞察とユーモア）
6. 統一的な人生哲学

これらの中には、われわれが言う「親（おや）性」の下位領域に近い内容も一部見いだされる。したがって、「親（おや）性」のコンセプトについても、またそれを扱う際に使用する項目についても、今後さらに検討が必要であろう。今回はとりあえず、われわれの設定したコンセプトと項目を用いて、調査、分析を進めたものである。

図I-1 親性の構造図



### 3. 調査概要

今回の調査のサンプルは、表I-1に示したように、高校生1,073名（女子650名、男子423名）、高校生の母親515名、幼稚園児・小学校低学年児の母親704名、計2,292名。調査時

期は1990年9月から1991年2月にかけてであった。なお、以下で高校生の母親を高年齢群、幼稚園児・小学校低学年児の母親を低年齢群または若い母親と表現してゆきたい。

表 I-1 サンプル数

|               | 女 子   | 男 子 | 合 計   |
|---------------|-------|-----|-------|
| 高校生           | 650   | 423 | 1,073 |
| 幼稚園・小学生低学年の母親 | 704   | —   | 704   |
| 高校生の母親        | 515   | —   | 515   |
| 合 計           | 1,869 | 423 | 2,292 |

## 第II章 母親の中にある「親(おや)性」



### 1. サンプルの概要

対象となった母親は1,219名（前出表I－1）で、両群の年齢構成は表II－1に掲げたとおりである。幼稚園児・小学校低学年児の母親は30代前半、高校生の母親は40代前半と、およそ10年近くの平均年齢の開きがある。

また両群の結婚年齢は、26歳までが7～8割（高校生の母親77%、低年齢児の母親66%）であり、大きな差はないが、それでもやや若い世代の母親の晩婚化が見いだされる。

表II－1 年齢

|                   | 20～<br>24歳 | 25～<br>29歳 | 30～<br>34歳 | 35～<br>39歳 | 40～<br>44歳 | 45～<br>49歳 | 50歳<br>以上 | (%) |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----|
| 幼稚園・小学生低学年の<br>母親 | 0.3        | 12.3       | 40.8       | 34.2       | 11.7       | 0.7        | 0.0       |     |
| 高校生の母親            | 0.0        | 0.0        | 0.2        | 10.3       | 55.9       | 26.9       | 6.7       |     |

## 2. ライフ・スタイル

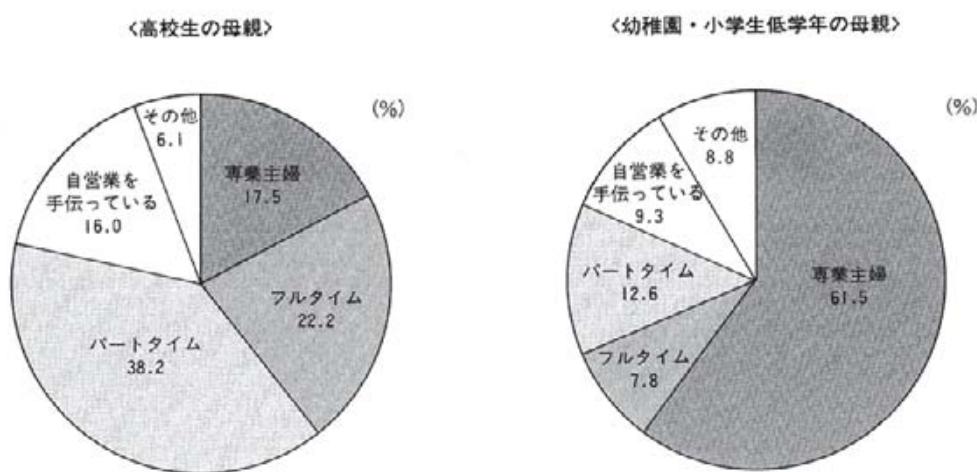
まず図II-1は母親の有職率である。専業主婦率は高年齢群18%、低年齢群62%と対照的である。子どもを育てるため、いったん職から離れ、後に再就職するという日本の女性のライフ・スタイルが、ここにも典型的に表れている。

次に図II-2は、高校生の母親が、家事・育児を好きかどうかをみた結果である。食事のあとかたづけを除いて、「洗濯、掃除、料理」などの家事は、「赤ん坊や子どもの世話」より好まれる傾向にある。低年齢群のデータは育児部分の好き嫌いをたずねる項目が含まれていなかったので省略したが、図II-3は家事のみについて、両群を比較してある。いずれの項目も高年齢群のほうが家事を好んでいることがわかる。

次に図II-4は、自己実現についてたずね

た結果である。たいていの人びとの人生には「これをしたい・したかった」というテーマがあるのではなかろうか。その有無と実現の度合いをたずねた結果をみると、テーマをもたなかつた者は両群ともに2割弱(右端)。残る8割ほどの母親の中で、「子育てのほうが大切だとあきらめた」とする断念群も同じく2割前後ある(左端)。あとの6割の母親は両群間に大きな差がみられる。高年齢群では「けっこう現在もやりたいことはやっている」と自己実現感をもつ者が44%、低年齢群の31%と比べ大きな割合を示す。これと逆に「現在は中断中だが、いつか再開するつもり」の者は低年齢群中には33%だが、高年齢群では18%。子どもの成長とともに自己実現への道を探りつつ、その達成を果たしてゆく姿が表れている。

図II-1 母親の有職率

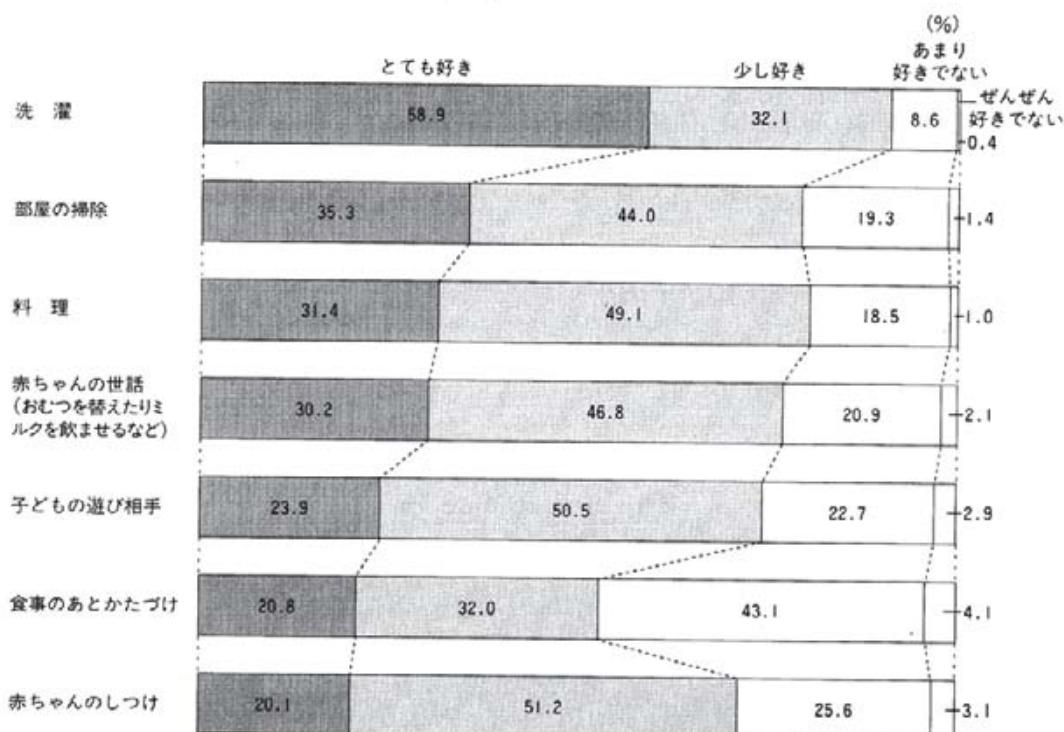


また図II-5は、性役割の受容度である。比較のため、次章で扱うことになっている女子高校生のデータを付加した。

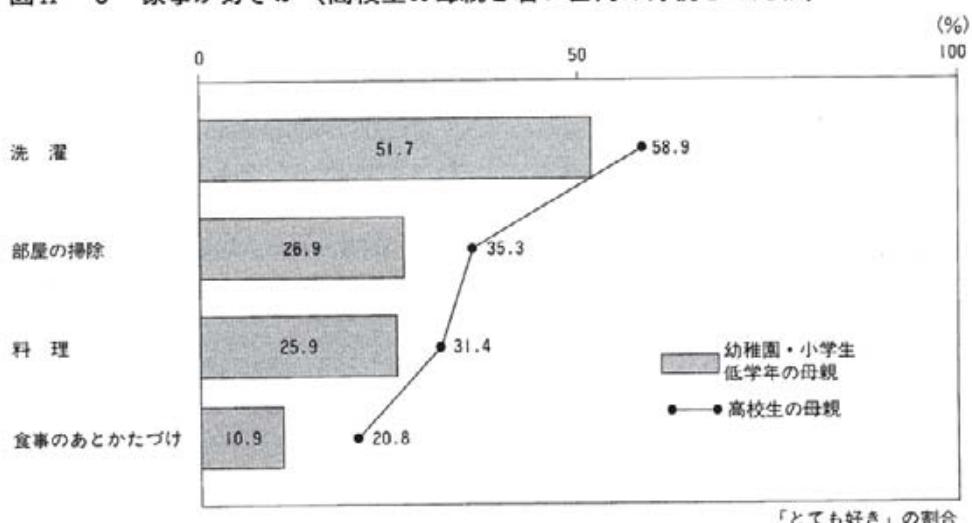
高校生の母親は自己の性役割の受容者が60%。その娘（女子高校生）の受容率（55%）よりわずかしか多くない。この女子高校生の受容率の高さは多少意外でもある。先行研究の結果から女子の場合、意欲的な者ほど女性役割に拒否的な傾向があるとされる。高校生

という年齢段階を考えると、女性役割の受容率の高さは彼女らの保守化の表れだろうか。また低年齢群（幼稚園児・小学校低学年児の母親）との比較をしてみると、低年齢群のほうが高年齢群より女性役割の受容率が高い（低年齢群71%、高年齢群60%）。子どもの成長が日々に大きく、育児に喜びの見いだせる時期であることが、女性役割の受容率を高めているのだろうか。

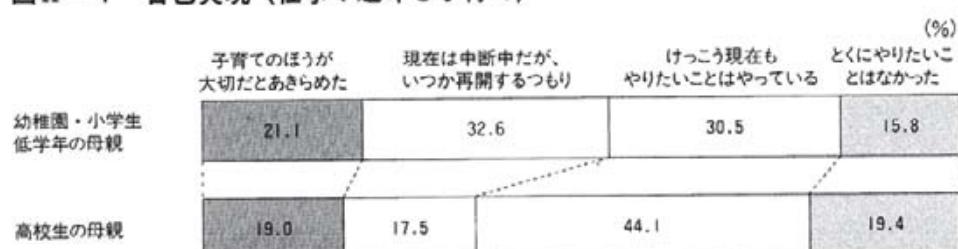
図II-2 家事が好きか（高校生の母親）



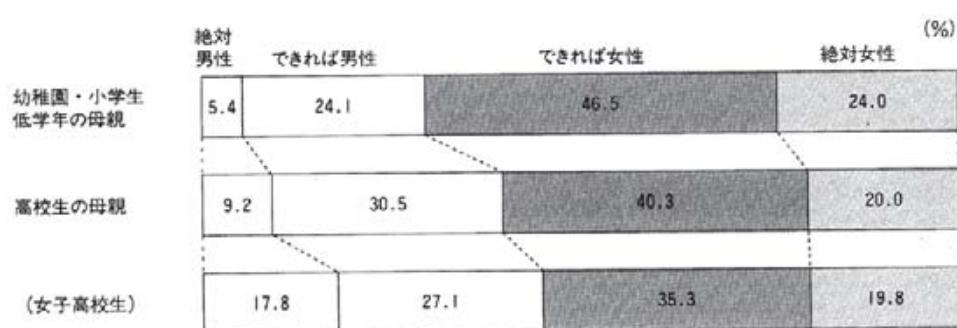
図II-3 家事が好きか（高校生の母親と若い世代の母親との比較）



図II-4 自己実現（仕事や趣味と子育て）



図II-5 性役割受容（もし生まれ変わるとしたら）



### 3. 自分の育った家族（定位家族）

母親たちは、かつてどんな家族の中で成長してきたか。図II-6は「あなたの両親は（あなたが子どものころ）仲がよかったか」とたずねた結果である。「とても」は4割ほどだが「少し」も含めると、両群とも7割を少し超えるくらいの高い肯定率になっている。図は省略したが「私の家族はお互いに思いやりがあった」に対しても、同じくらいの肯定率が示されている。

次に図II-7、II-8は、両親の人柄である。これも例外的に次章の女子高校生のデータを加え、作図してある。図が示すように、母親評価は「一生懸命に働く」が最も高く、他の3項目と大きな差がある。父親評価も同様である。また女子高校生、幼稚園児・小学校低学年児の母親、高校生の母親の3群間を比較すると、母親世代のほうが「とてもそう」の数値が上昇する傾向が見いだされる。

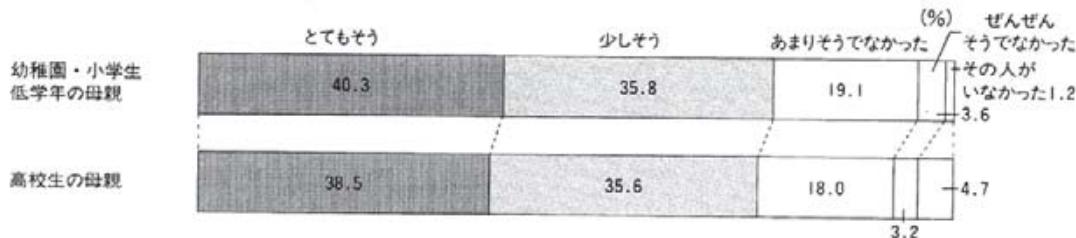
次に図II-9は「幼いころ母親にしてもらった世話（高校生の母親）」の記憶である。項目は「よく、してくれた」の数値の高い順に並べてある。そして図II-10はこれと、幼稚園児・小学校低学年児の母親との差を図示したもので、「よく、してくれた」の割合で比較しているが、「おやつを作る」以外のすべての

項目は、むしろ低年齢群の数値が高くなっている。これは最近の若い母親のほうが、昔より子どもの世話をするようになったのか、それとも記憶によるバイアスなのか、議論の分かれるところだろう。

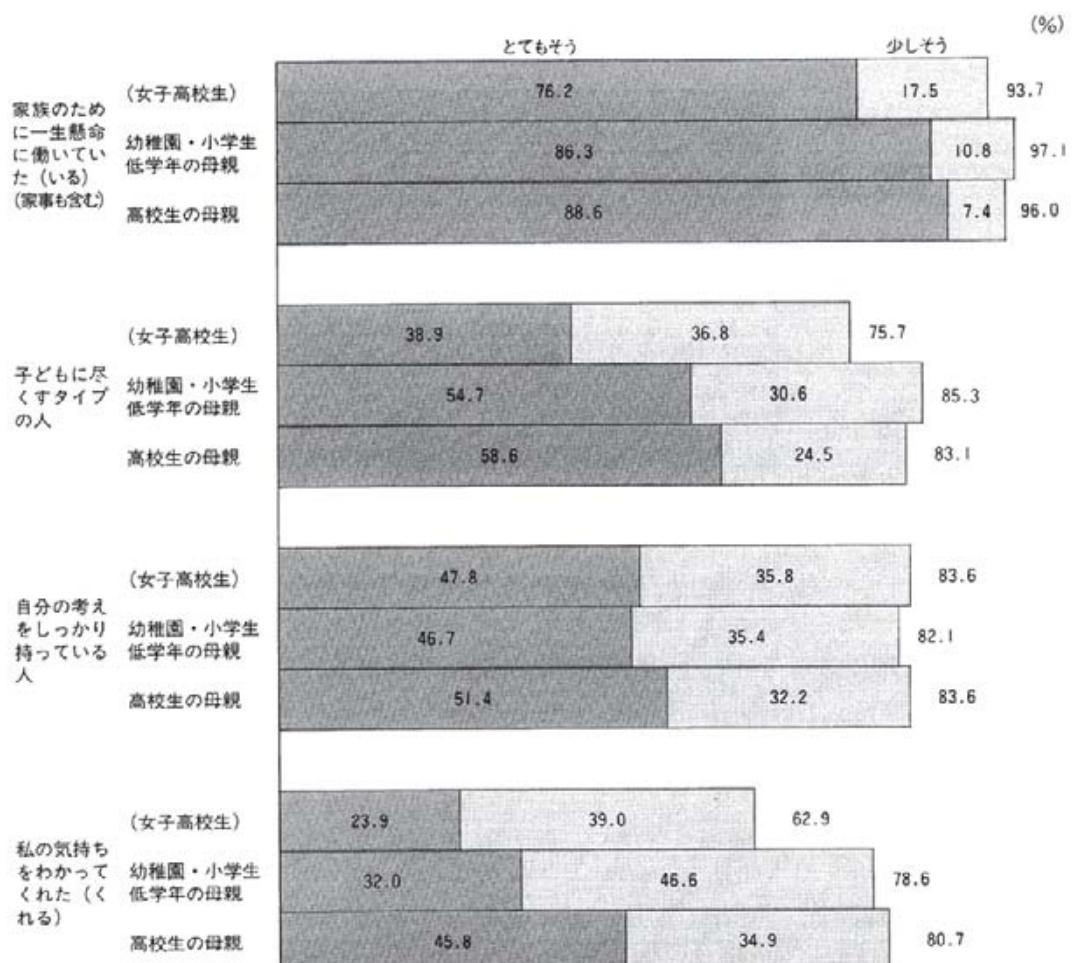
次に図II-11は、両親の人生の中で子ども（自分やきょうだい）を育てることがどのくらい「生きがい」だったと思うか、をたずねた結果である。これは自分のセルフ・エステイーム（自己価値感）にもかかわる問題であり、また自分の人生の中で子育てをどう位置づけるか、子育てにどのくらい意味や関心をもちうるか、にもかかわる側面でもあろう。（ここでもまた比較のため、女子高校生のデータを掲げた。）

図が示すように、父親と母親については、母親群は2群とも母親のほうにより子育てが生きがい（ほとんど・または一部）だったと答えており、年齢による差も少ない。しかし女子高校生の場合は自分の母親にとって「生きがいのほとんど」とする者は28%と低く（母親群では両群とも55%）、現代の母親にとって子育てが生きがいや自己実現から遠くなっている様子を推測させる。

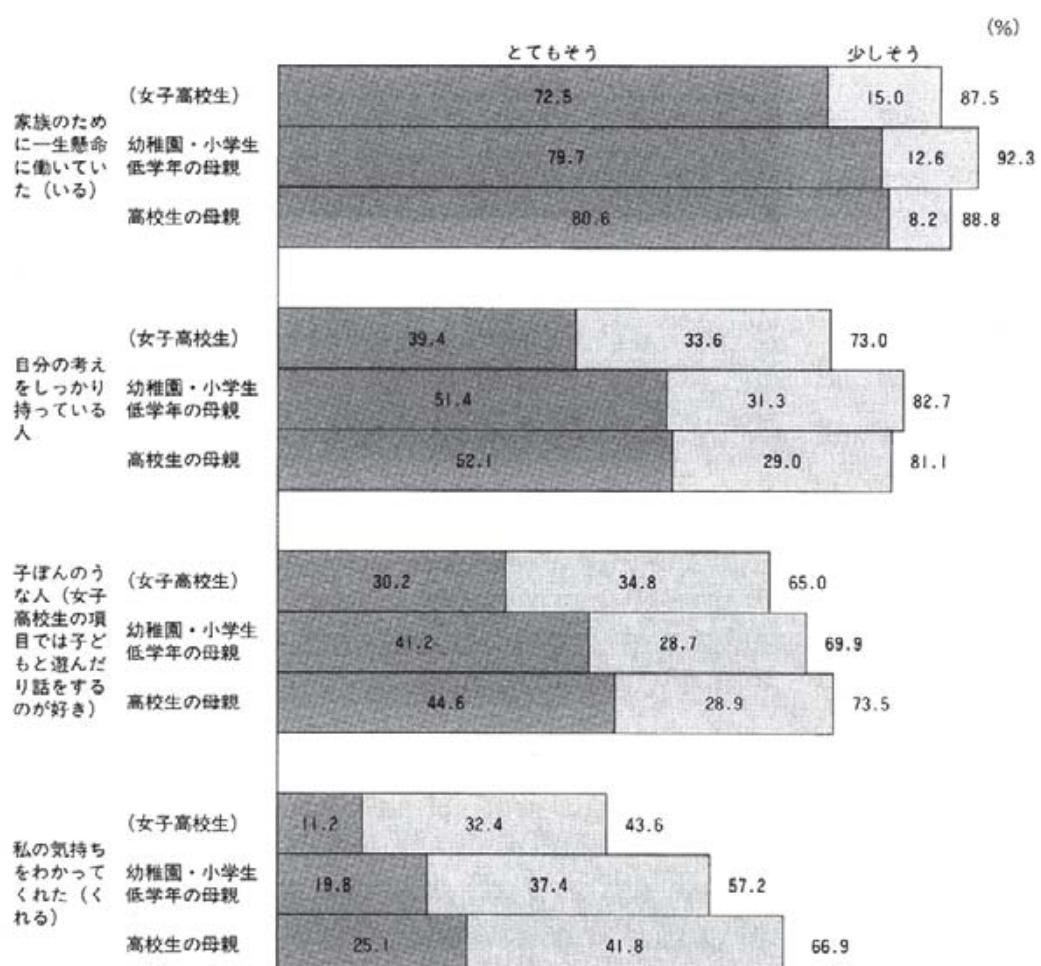
図II-6 両親は仲がよかったか



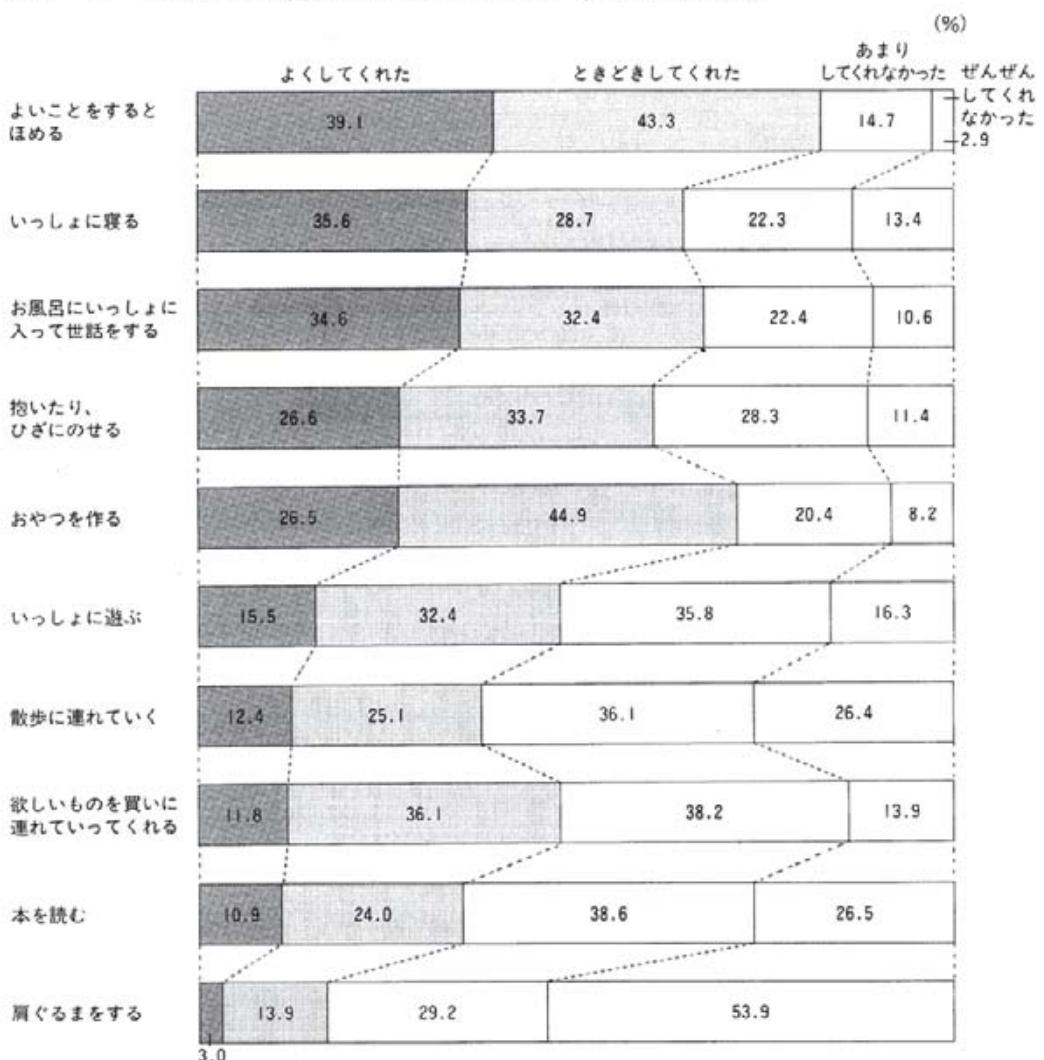
図II-7 母親の人柄



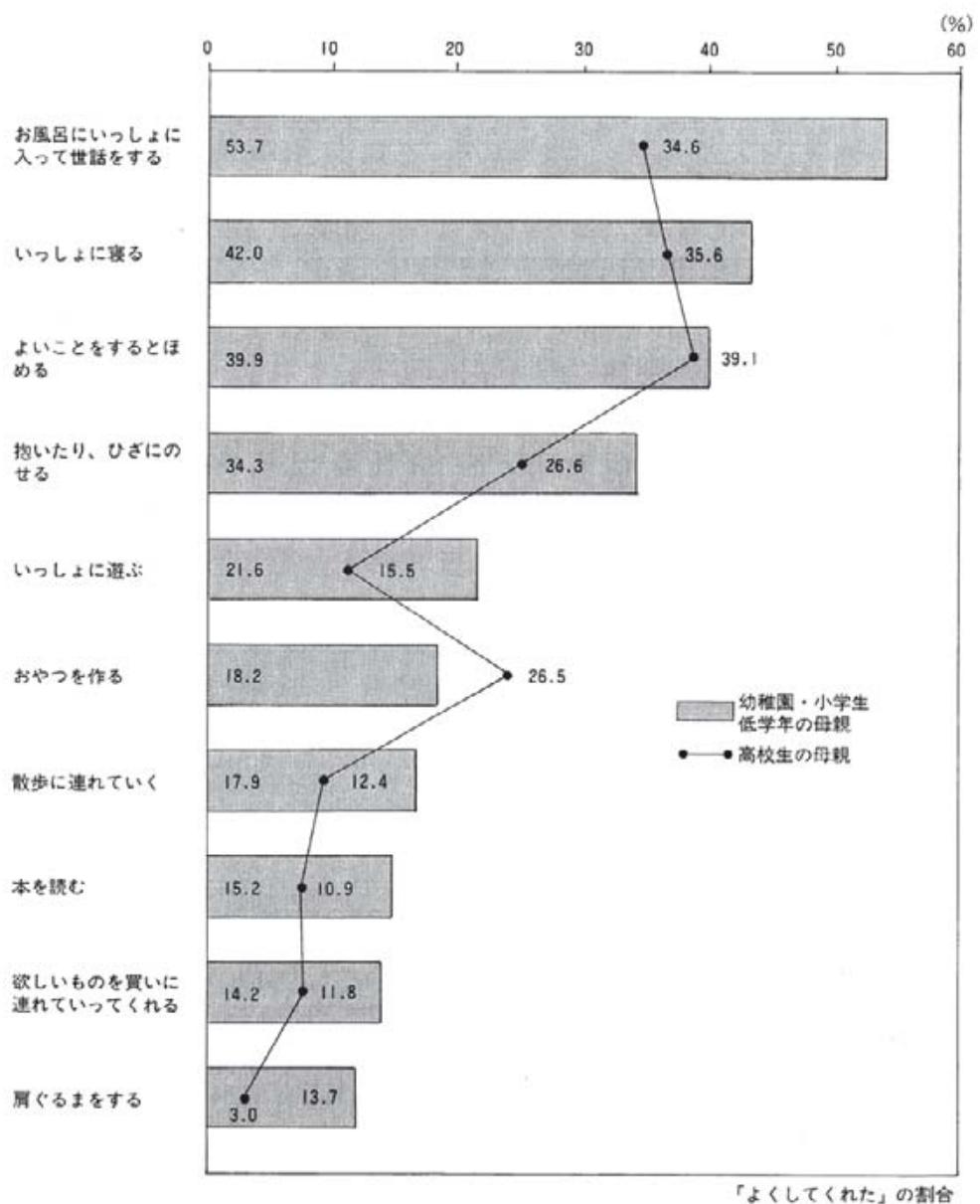
図II-8 父親の人柄



図II-9 小さいころ母親にしてもらったこと（高校生の母親）

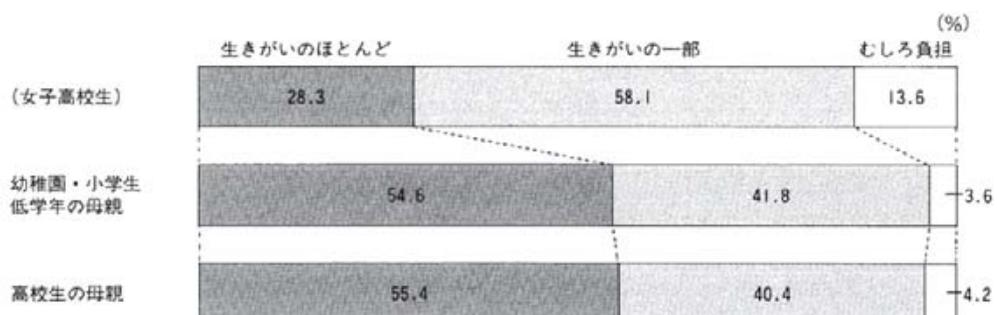


図II-10 小さいころ母親にしてもらったこと×世代

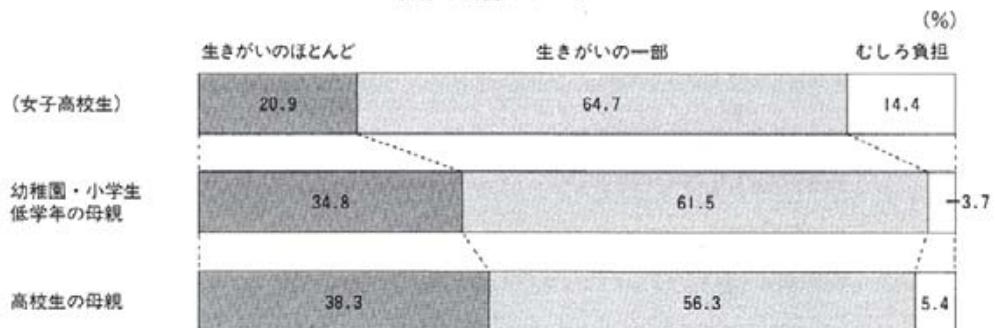


図II-11 人生において子どもを育てた意味

〈自分の母親について〉



〈自分の父親について〉



## 4. 母親としての自分

さて母親たちは、現在の自分、とくに子育ての当事者としての自分に対して、どのような満足感や自己評価をしているのだろう。図II-12によれば、子どもへの満足度は、性格面が最も高く「十分、まあまあ」を合わせると9割近くになり、次いで健康、しつけ、最も満足度の低いのが学力についてである。とはいえ、学力面でも6割近い母親が、一応の満足を示している点をみると、子どもへの満足度というより、わが子の「受け入れ」は、予想外に十分とも言えそうである。これで現代

が高学歴時代でなかったら、わが子に学力面で期待する必要もなくなり、すべての母親が、親として、十分に充たされた感情でいられたのではなかろうか。

次に図II-13は、より直接的に「母親としての自己採点」を求めた結果である。「ふつうの母親を60点として」と基準を与えての自己採点であるが、図が示すように、若い母親より高校生の母親のほうが、採点が甘くなっていることがわかる。平均以上と自己採点する者は低年齢群で31%、高年齢群では50%とな

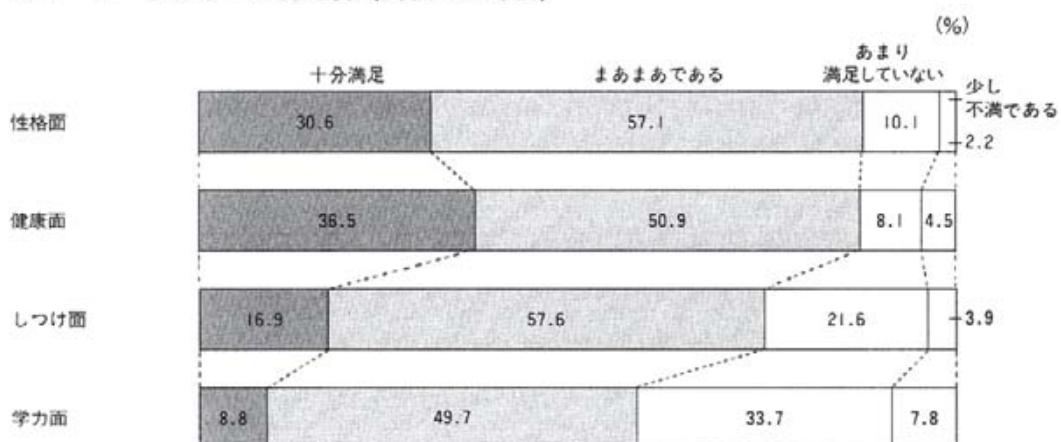
っている。しかし全体としては、自分を「ふつう」または「それ以上」とする者が多く、若い母親で69%、高校生の母親では85%にも達している。

そうした自己評価の結果をふまえて、では母親たちは自分をどのくらい「受け入れ」ているのだろうか。この「受け入れ」とは臨床心理学的には「自己受容」「自己肯定」「自分への満足感」等の語で置き換えられる。自分に対するこうした感情は、自分の現状に対する

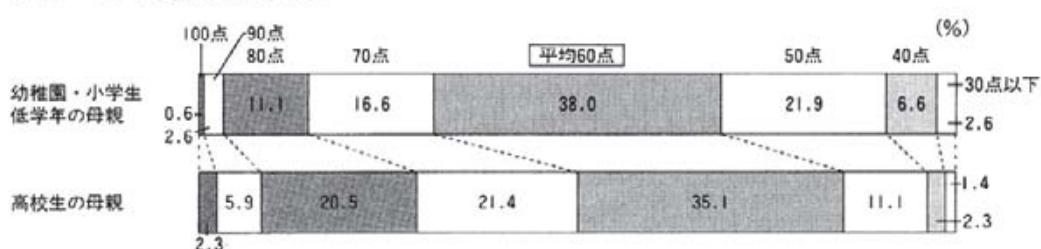
適応ができているかどうかを示し、人の幸福感や他者との関係を成立させる際のいわば土台である。また臨床心理学で使われるセルフ・エスティーム（自己価値感・自尊感情）ともほぼ似た概念と考えてよさそうである。このコンセプトにいちばん近いき方が「あなた自身を好きですか」ではないかと、これまでの自分たちの調査研究の結果から、われわれは考えている。

図II-14によれば、自分を受け入れる（自

図II-12 子どもへの満足度（高校生の母親）



図II-13 母親の自己評価

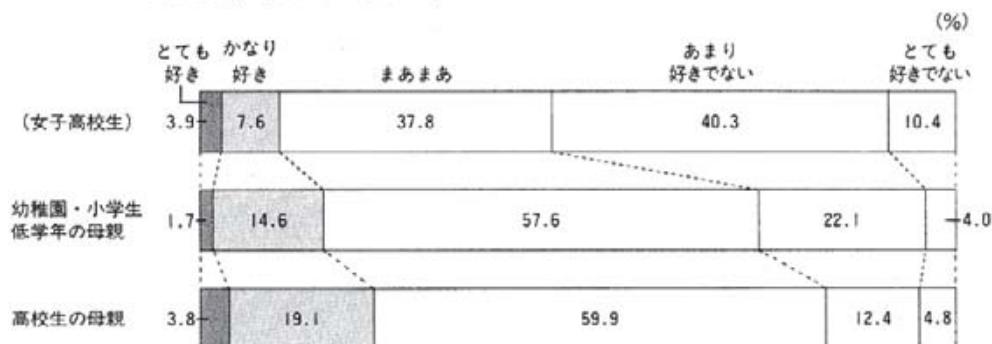


己を肯定的にとらえる) 感情は、年齢とともに増加してゆき、自分を「とても・かなり・まあまあ」好きを合計した数値は、高校生では49%だが、若い母親では74%、高校生の母親では83%にも達する。こうした数値の上昇は、「自分」に対する適応過程を示すとみなすことができよう。

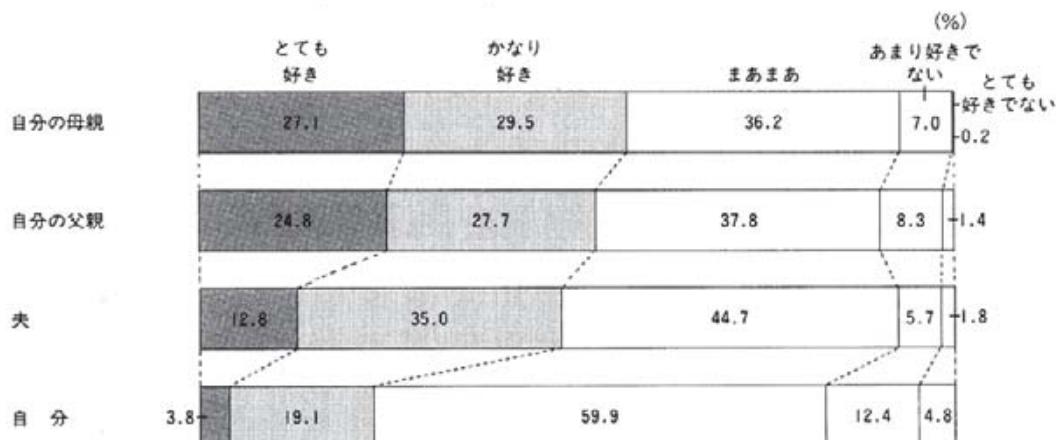
「自己受容」に対して、「他者受容」という語とコンセプトもある。自分、夫、父母の4者への「好意的な感情」を比較したのが、図

II-15である。全体としては「まあまあ」までを含めると、だれに対しても受容度は9割前後ときわめて高い。しかし、「とても好き」の数値を拾ってみると、母親(27%)が最も高く、次いで父親(25%)、夫(13%)、最も低い数値は自分(4%)に対するものとなっている。この順序は、母親対象の調査では常に確かめられるものようである。子の、親に対する愛情の一端をのぞく思いがする。

図II-14 自己受容(自分が好きか)



図II-15 だれが好きか(高校生の母親)



## 5. 「親(おや)性」をめぐって

われわれが「親(おや)性」と名づけたコンセプトに調査的に接近しようとすると、その下位領域として「子どもへの関心」「援助性」「情緒の安定性」「自己受容」がとりあえず拾い出せることを、冒頭に述べた。これまでに「自己受容」(自分を好きか)については、図II-14、図II-15で検討してきた。ここでは残る3つの領域をみてゆくことにしよう。

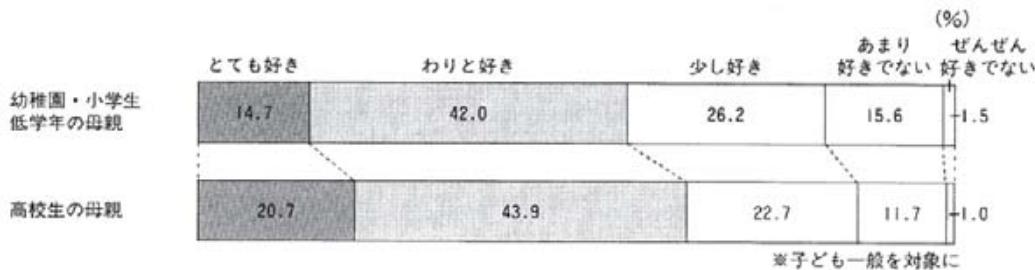
まず図II-16は「子ども好きですか」(わが子を離れて一般的に)、すなわち「子どもへの関心」をたずねた結果である。

図が示すように、「子ども(一般)を(あまり・ぜんぜん)好きでない」と答えた母親は、両群ともに2割を切っている。しかし「少し好き」とは「あまり好きでない」感情に隣接した、または同義に近い意味をもっているとも考えられ、これを含めると「それほど子ども好きでない母親」は4割前後もいることになる。当然のこととも考えられるが、それほど子ども好きでない女性も、多くは後に母親になることを考えると、出生率1.53時代とはいえ、育児・子育てという長い期間(歳月)の作業をどう周囲が支えるか。育児以外の自己実現をも果たせるような社会的援助システムが必要だろう。

次に表II-2は、もう少し具体的な項目で子どもへの関心をみた結果である。高年齢群の結果のみ掲げたが、若い母親の場合も数値はほとんど変わらない。そして表II-3で示したように、こうした「子どもへの関心」は、自分自身に対する態度、すなわち自己受容(自分が好きか)と関係をもっていることがわかる。とくに若くて子育ての最中にいる世代の母親層は、表が示すように、「自分が好きな母親」にはほとんどの項目で「子どもへの関心」が最も高くなっている。逆に「自分が嫌いな母親」では、子どもへの関心も低い。例えば若い世代の母親の場合、「赤ちゃんを見ていると楽しくなる」は、自分を「とても・かなり好き」な群では50%いるが、「まあまあ好き」では40%に低下し、「むしろ嫌い」な群で「見ていると楽しくなる」者は35%と最も低くなっている。高校生の母親もその傾向にある。

また表II-4は「援助性」をみたものである。「困っている人がいたら、自分はそのときどうすると思うか」だが、質問紙上の回答なので、実際にこうした場面に行きあわせたときは、行動上また少し違ってくるかもしれない。全体としては「きっと・たぶんそうする」者が多いが、しかし「たぶんそうしない」と

図II-16 子どもが好きか



する者も「妊婦に席をゆずる」「迷子を駅員のところへ連れていく」「盲人の手を引く」「身体の不自由な人への週1回のボランティア」などの項目では2割から4割がそう答えていた。

この「援助性」に関しては、他におもしろいデータがある。一例として表II-5で示したように、「援助性」は社会的安定感やセルフ・エスティームにかかわりをもつ特性のように思われる。表が示すように、ほとんどの項目で「知人からとても好かれている」群の援助性の数値が最も高い。援助性が高いから他人から好かれるとも考えられるが、逆によりよい自己イメージの強化、すなわち「他人か

らの社会的期待に応える自分でありたい」とする心の動きが、他人への援助行動の数値を上昇させるとも考えられる。

また表II-6は、母親の成績（高校時代）や学歴と「援助性」の関連をみたものだ。

まず成績との関連では、高校時代の成績がふつうかそれ以上だった者の間では、援助性と成績との関連は明確ではないが、成績のよくなかった者の間では他より援助性が高い結果がみられる。次に学歴については、中卒の者に援助性が高い。昔、成績がよくない、あるいは高学歴でなかった母親のほうが、人の痛みがわかるのだろうか。

表II-2 子どもへの関心（高校生の母親）

|                            | とてもそう  | わりとそう  | 少しそう | あまりそうでない | ぜんぜんそうでない | (%) |
|----------------------------|--------|--------|------|----------|-----------|-----|
| 赤ちゃんを見ていると楽しくなる            | (48.3) | 38.4   | 9.5  | 3.0      | 0.8       |     |
| 赤ちゃんはかわいくて大好きだ             | (47.5) | 35.9   | 12.5 | 3.5      | 0.6       |     |
| 赤ちゃんをだっこしてみたい              | (34.4) | 29.8   | 20.6 | 11.9     | 3.3       |     |
| 昔、将来子どもを扱う職業につきたいと思ったことがある | 19.3   | 12.0   | 15.9 | 23.8     | (29.0)    |     |
| 子どもと遊んであげるのが好きだ            | 17.8   | (31.3) | 26.8 | 22.2     | 1.9       |     |
| 赤ちゃんの世話をしてもみたい             | 15.4   | 20.4   | 27.9 | (29.2)   | 7.1       |     |
| 赤ちゃんの泣き声は嫌いだ               | 6.3    | 10.8   | 25.3 | (42.5)   | 15.1      |     |
| 小さい子どもに 관심がない              | 3.8    | 9.5    | 13.7 | (39.4)   | 33.6      |     |
| 高校生のころ、将来子どもはなくないと思っていた    | 3.2    | 3.4    | 7.9  | 19.6     | (65.9)    |     |
| おむつを替えるのは気持ち悪い             | 1.2    | 4.1    | 13.2 | 32.2     | (49.3)    |     |

( )は最大値

また図II-17は、高校生の母親の「子どものころの幼い者との接觸経験」をたずねた結果である。この年齢でも、小さな子どもの世話をほとんどしたことがなかった者、とくに赤ん坊の世話をしたことがまったくなかった者もけっこう多い。そして図II-18はその世代間比較である。高校生の母親に比べ、若い世代の母親の経験は一層少なくなっている。子どもの数の減少によって、身近に幼い者たちの養育や世話を見る経験なしに成長して、ある日突然母親となり、自分の赤ん坊を育てなければならない立場に立たされる。そうし

た日に備える親への「準備」が、どこかで学習機会として設定されなければならなくなってきたことがあるが、これらのデータから痛感させられる。

最後に表II-7は自己安定感である。11の項目中1~5まではセルフ・エスティーム尺度の一部であり、6~11は、情緒の安定性を示す項目として、各種の心理テストの項目から拾い出したものである。こうした自己安定感も「親（おや）性」の構成要素の重要な下位領域と考えられるが、この中の一部の項目はすでに表II-5でも使用している。

表II-3 子どもへの関心×自己受容（自分が好きか）

| 子どもへの関心                    | 自分が    | 幼稚園・小学校低学年の母親  |            |                       | 高校生の母親         |            |                       | (%) |
|----------------------------|--------|----------------|------------|-----------------------|----------------|------------|-----------------------|-----|
|                            |        | とても好き<br>かなり好き | まあまあ<br>好き | あまり好き<br>でない<br>とても嫌い | とても好き<br>かなり好き | まあまあ<br>好き | あまり好き<br>でない<br>とても嫌い |     |
| 赤ちゃんを見ていると楽しくなる            | (50.4) | 40.3           | 34.8       | (56.6)                | 45.1           | 47.0       |                       |     |
| 赤ちゃんはかわいくて大好きだ             | 43.2   | (44.1)         | 38.0       | 50.5                  | 46.0           | 48.1       |                       |     |
| 赤ちゃんをだっこしてみたい              | (37.5) | 34.8           | 34.8       | 36.4                  | 31.3           | (40.0)     |                       |     |
| 子どもと遊んであげるのが好きだ            | (20.5) | 15.0           | 8.9        | 20.5                  | 15.5           | (22.2)     |                       |     |
| 赤ちゃんの世話をしてみたい              | (23.2) | 18.4           | 11.4       | 13.6                  | 14.5           | (22.1)     |                       |     |
| 昔、将来子どもを扱う職業につきたいと思ったことがある | (31.9) | 24.0           | 17.3       | 18.0                  | 19.5           | (20.5)     |                       |     |
| 赤ちゃんの泣き声は嫌いだ               | 6.2    | 3.1            | 3.4        | 8.9                   | 5.9            | 3.6        |                       |     |
| 高校のとき、将来子どもはなくていいと思っていた    | 7.1    | 4.3            | 4.6        | 3.7                   | 2.9            | 3.9        |                       |     |
| 小さい子どもに関心がない               | 0.9    | 1.8            | 1.1        | 1.8                   | 4.3            | 3.8        |                       |     |
| おむつを替えるのは気持ち悪い             | 1.8    | 0.5            | 0.0        | 3.7                   | 0.7            | 0.0        |                       |     |

「とてもそう」の割合

表II-4 援助性（高校生の母親）

|  | きっとそうするだろう | たぶんそうするだろう | たぶんそうしないだろう | きっとそうしないだろう | (%) |
|--|------------|------------|-------------|-------------|-----|
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としちゃったのを見て、いっしょに拾ってあげる     | 62.6       | 35.8       | 1.4         | 0.2         |     |
| 老人が荷物を重そうに持って階段を上がるのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる       | 46.8       | 46.4       | 6.4         | 0.4         |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前の妊婦さんに席をゆずってあげる          | 37.5       | 40.0       | 21.0        | 1.5         |     |
| 駅で時間がなく急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていってあげる | 32.8       | 45.6       | 19.1        | 2.5         |     |
| 交差点で目の見えない杖をついている人を見たら手を引いてあげる                   | 29.5       | 40.9       | 26.6        | 3.0         |     |
| お金にならないが、遇に一度身体の不自由な人の世話をきてあげる                   | 12.7       | 40.7       | 38.2        | 8.4         |     |

表II-5 援助性×たいていの知人から好かれている（社会的安定感）

| 援助性  | 幼稚園・小学校低学年の母親 |      |                       | 高校生の母親 |      |                       | (%) |
|--|---------------|------|-----------------------|--------|------|-----------------------|-----|
|  | とてもそう         | 少しそう | あまりそうでない<br>ぜんぜんそうでない | とてもそう  | 少しそう | あまりそうでない<br>ぜんぜんそうでない |     |
| 老人が荷物を重そうに持って階段を上ぐるのを見たら、声をかけて進んで荷物を持ってあげる       | 54.1          | 35.4 | 25.0                  | 58.6   | 45.5 | 37.7                  |     |
| 駅で時間がなく急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていってあげる | 39.2          | 27.9 | 19.1                  | 50.0   | 30.2 | 27.4                  |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前の妊婦さんに席をゆずってあげる          | 51.4          | 38.4 | 28.4                  | 40.2   | 39.1 | 25.8                  |     |
| お金にならないが、遇に一度身体の不自由な人の世話をきてあげる                   | 12.3          | 4.9  | 5.7                   | 16.9   | 12.5 | 6.7                   |     |
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としちゃったのを見て、いっしょに拾ってあげる     | 77.0          | 63.3 | 44.9                  | 82.8   | 60.3 | 48.4                  |     |
| 交差点で目の見えない杖をついている人を見たら手を引いてあげる                   | 35.1          | 20.6 | 20.7                  | 39.3   | 26.8 | 27.1                  |     |

※援助行動を「きっとそうするだろう」の割合

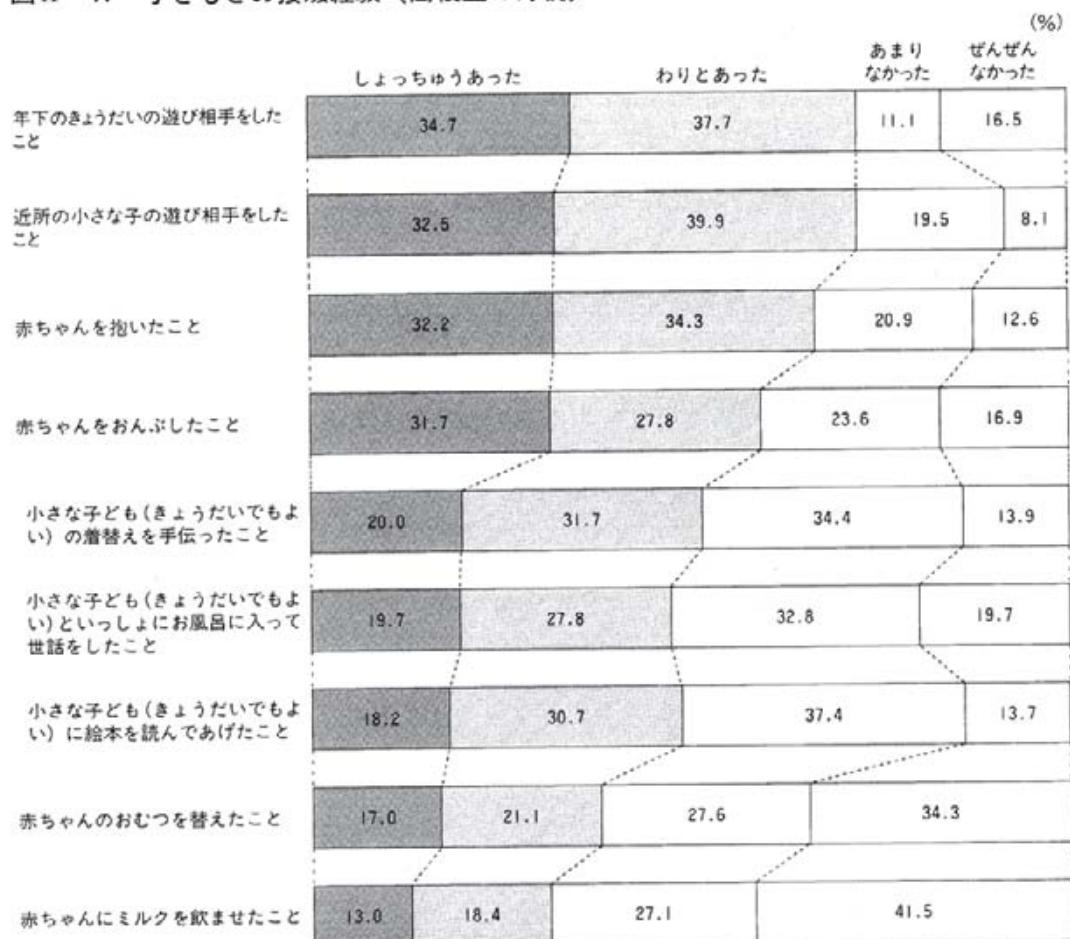
表II-6 援助性×母親の高校時代の成績・学歴（高校生の母親）

| 援助性  | 成 績  |      |      |          | 学 歴  |      |        |                 | (%) |
|--|------|------|------|----------|------|------|--------|-----------------|-----|
|  | 上    | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 | 中学卒業 | 高校卒業 | 短期大學卒業 | 大学卒業<br>またはそれ以上 |     |
| 老人が荷物を重そうに持つて階段を上がるを見たら、声をかけて進んで荷物を持ってあげる        | 41.9 | 46.5 | 47.1 | 50.0     | 50.9 | 44.9 | 49.1   | 46.2            |     |
| 駅で時間がなく急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていってあげる | 35.5 | 37.5 | 25.0 | 46.7     | 45.5 | 29.7 | 39.6   | 30.8            |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前の妊婦さんに席をゆずってあげる          | 37.1 | 35.2 | 35.1 | 53.3     | 51.9 | 35.2 | 35.8   | 35.9            |     |
| お金にならないが、週に一度身体の不自由な人の世話をしてあげる                   | 18.0 | 7.1  | 9.5  | 30.0     | 22.6 | 10.2 | 7.5    | 16.7            |     |
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としてしまったのを見て、いっしょに拾ってあげる    | 64.5 | 63.6 | 59.2 | 79.3     | 61.1 | 61.1 | 60.4   | 69.2            |     |
| 交差点で目の見えない杖をついている人を見たら手を引いてあげる                   | 37.1 | 28.1 | 25.0 | 33.3     | 41.8 | 24.9 | 18.9   | 51.4            |     |

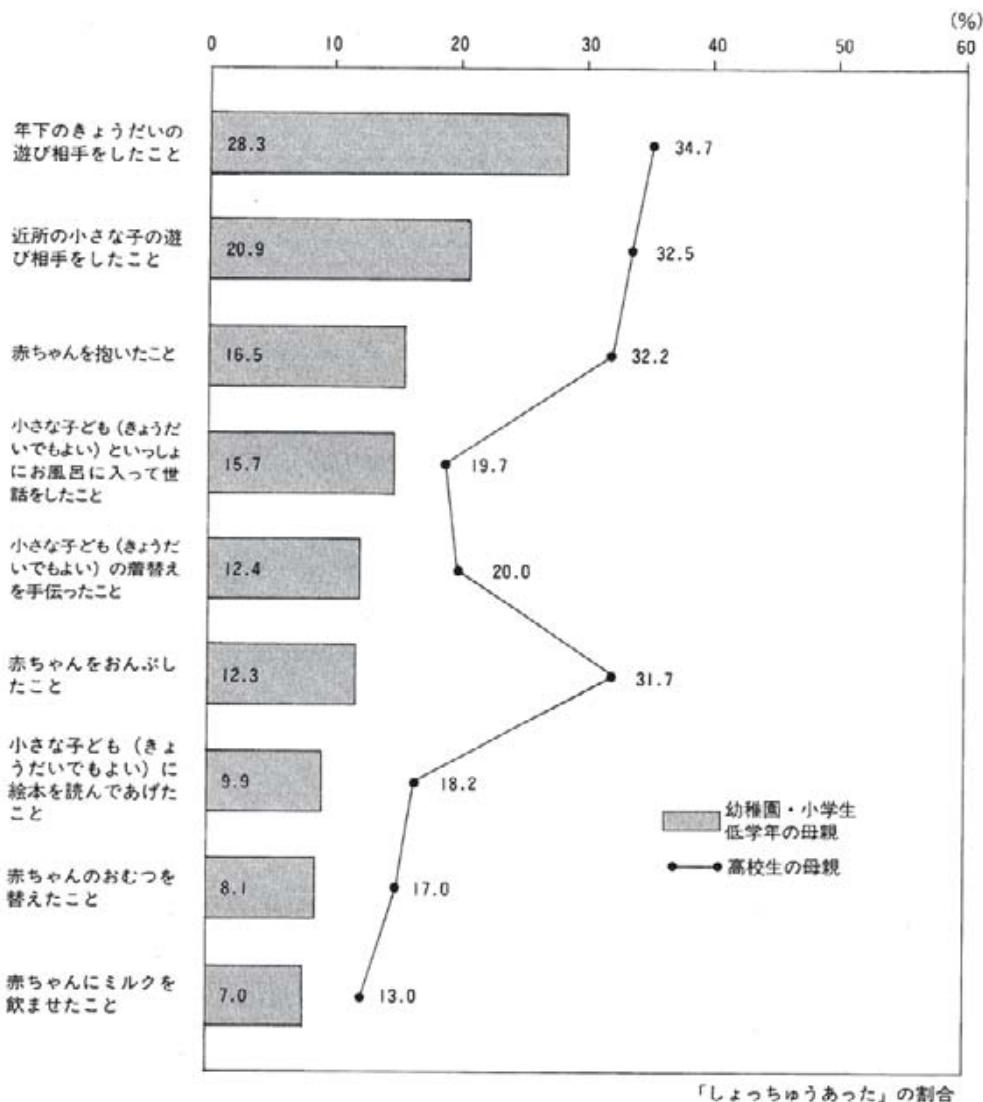
援助行動を「きっとそうするだろう」の割合

( )は最大値 —— は最小値

図II-17 子どもとの接触経験（高校生の母親）



図II-18 子どもとの接触経験×世代



表II-7 自己安定感（高校生の母親）

|                                  | とてもそう | 少しそう | あまり<br>そうでない | ぜんぜん<br>そうでない | (%) |
|----------------------------------|-------|------|--------------|---------------|-----|
| 1. たいていの知人から好かれている               | 18.8  | 67.8 | 13.0         | 0.4           |     |
| 2. 他の人にできる辛抱なら自分にもできる            | 49.5  | 42.2 | 7.2          | 1.1           |     |
| 3. だれも私を理解してくれない                 | 2.7   | 16.0 | 54.9         | 26.4          |     |
| 4. 自分も他の人のように幸福だったらなあ<br>と思う     | 9.0   | 20.1 | 41.9         | 29.0          |     |
| 5. 私は役に立たない人間だなあとつくづく<br>思う      | 2.8   | 12.4 | 46.1         | 38.7          |     |
| 6. 何かにつけてよく心配する                  | 29.3  | 34.9 | 27.8         | 8.0           |     |
| 7. いつもゆううつだ                      | 3.7   | 12.6 | 49.4         | 34.3          |     |
| 8. 失望するとショックでなかなか忘れるこ<br>とができるない | 15.0  | 28.8 | 41.8         | 14.4          |     |
| 9. 体の調子がよくないと、気難しくなるとき<br>がある    | 11.3  | 50.2 | 29.5         | 9.0           |     |
| 10. ときどき、たまらなく家出したくなる            | 3.0   | 12.3 | 25.2         | 59.5          |     |
| 11. ときどき、物をたたきつけたくなる             | 3.6   | 17.0 | 30.5         | 48.9          |     |

( ) は最大値

## 第III章 高校生の中の「親(おや)準備性」



この章ではもうすぐ親になる発達段階上にある高校生の中に「親（おや）性」がどのくらい準備されているかについてみてゆきたい。

### 1. サンプルの属性

まず調査対象は東京・千葉・埼玉の公立高校1年生から3年生の1,073名（女子650名、男子423名）で、各校の進学状況はさまざまである。集計表（巻末資料2）が示すように、サンプルのきょうだい数は自分を含め2人が5割強。末っ子のきょうだいとの年齢差は表III-1に示したとおりである。本人が末っ子または一人っ子が約4割強で、それ以外では2~3歳の年齢差がある者が約2割。また生徒の両親についてみると、父親は40代後半が

約4割、母親は40代前半が5割。また表III-2に示したように、母親の職業では専業主婦は2割強でしかないが、フルタイム勤務の母親も約1割にすぎず、パートタイム勤務の母親が4割となっており、本格的に仕事をもつというよりも、子どもが学校に行っている間、ちょっとした仕事をするというのが一般的な姿のようである。また表III-3は本人の成績を示した。

表III-1 末っ子のきょうだいとの年齢差

|               | (%)  |      |
|---------------|------|------|
|               | 女 子  | 男 子  |
| 本人が末っ子または一人っ子 | 44.0 | 44.6 |
| 年齢差 1歳        | 4.2  | 2.6  |
| 2歳～3歳         | 23.5 | 21.5 |
| 4歳～5歳         | 12.6 | 17.0 |
| 6歳以上          | 15.7 | 14.3 |

表III-2 両親の職業

| 父 親        | 母 親  |            | (%)  |
|------------|------|------------|------|
| 店をやっている    | 11.8 | 専業主婦       | 22.1 |
| 店や工場に勤めている | 10.8 | フルタイムの勤め   | 12.3 |
| 会社員        | 52.0 | パートタイムの勤め  | 39.0 |
| 公務員や先生     | 6.6  | 自営業を手伝っている | 13.3 |
| その他        | 18.8 | その他        | 13.3 |

表III-3 成 績

|     | 上   | 中の上  | 中    | 中の下  | 下    | (%) |
|-----|-----|------|------|------|------|-----|
| 女 子 | 8.2 | 21.8 | 36.8 | 20.2 | 13.0 |     |
| 男 子 | 8.7 | 17.7 | 33.3 | 15.1 | 25.2 |     |

○は最大値

## 2. 子どもたちの中にある結婚

サンプルとなった高校生たちは、将来の人生設計をどのように予測しているのだろうか。

図は省略したが、高校生たちの卒業後の進路の予定として、すぐ就職を希望している者は男子で8%、女子で20%、4年制大学希望では男子59%、女子15%と大差があり、女子の短期大学でよいとする者31%も含め、女子の高学歴化が進んでいるといわれている中で高校生たちはまだ教育面での「性役割」から解放されないまままでいるように思われる。

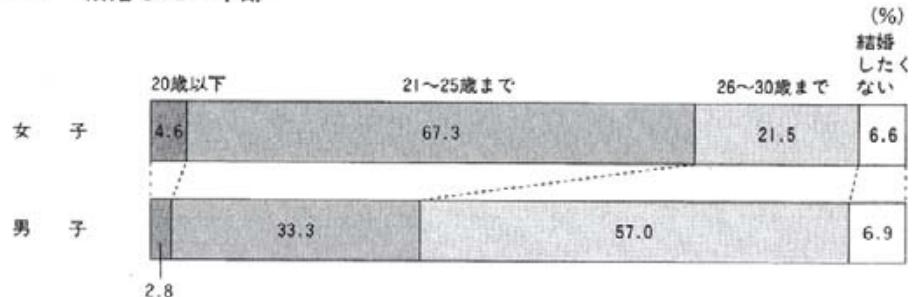
次に図III-1は「結婚したい年齢」で、女子は21~25歳までに67%、男子は26~30歳までに57%の者が結婚をしたいと考えている。親となる日に備えるための準備期間はせいぜい数年しかないことになる。とくに女子の準備期間は短く、その間に彼女たちはどこで何を学ぶのだろうか。

また「将来子どもが何人欲しいか」をたずねてみると、巻末(資料2)に示したように男女とも2人を望んでいる者が62%だが、男子は1~2人が78%、女子では2~3人が83%と、わずかに女子のほうが子どもを多く望んでいる。表III-4は欲しい子どもの人数を母親の職業別にみたものである。女子では母親の職業がどのようにであろうと「2~3人」

を望む者が約8割強だが、男子は専業主婦の子どもは「2~3人」が8割、仕事をもっている母親の子はそれより少なくて「1~2人」を望む傾向がわずかながらみられる。

さて、子どもが生まれた後の生活、とくに女子はそのライフ・コースをどのように考えているのだろうか。図III-2は子どもが生まれた後に希望するライフ・コースである。女子は「専業主婦」27%、「子どもが大きくなるまでは専業主婦をし、その後仕事をする」60%、「ずっと仕事を続ける」が13%。男子は自分の結婚相手に「専業主婦」を39%の者が期待し、「ずっと仕事を続ける」ことを期待する者は7%にすぎない。最近では企業で働く男性も同時によき家庭人であることを期待されるようになり、男性の育児休暇も話題になっているが、男子高校生の描く妻への役割期待は依然として変わっていないようである。もう少し数値を追ってみたい。母親の職業別にみると(表III-5)、女子で専業主婦を希望する者の母親は専業主婦の母親が最も多く(42%)、子どもが大きくなるまでは専業主婦で、その後仕事をすることを希望する者の母親はパートタイムでの勤めの母親が68%、ずっと仕事を希望する者の母親はフルタイムで

図III-1 結婚したい年齢



の勤め21%、自営業の手伝いの母親24%と、ほぼ母親のライフ・スタイルと同様の傾向を示している。男子においても同様である。したがって女子は自分の母親を人生のモデルとし、男子は結婚する相手の女性に母親のイメージを重ねてみていると考えられる。

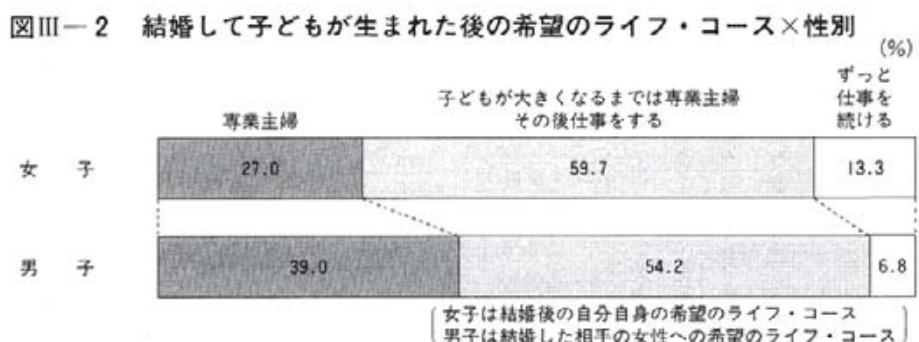
図III-3は結婚したときの家事への興味を予測させたものである。料理への興味がもてる割合は女子で「とても・少しそう思う」者は89%、男子では60%と最も高く、部屋の掃除（女子80%、男子51%）、洗濯（女子69%、男子24%）、食事のあとかたづけ（女子49%、男子28%）の順となっていて、女子に依然として家庭志向の傾向がみられる。さらに数値を追ってみよう。表III-6は「とても興味が

もてる」割合を成績別に示したものである。男子では成績の上位者がすべてに高い数値を示しているのがおもしろい。表III-7は母親の職業別にみたものである。男女とも専業主婦の母親の子どもに高い数値を示す傾向がみられる。したがって、男子では成績の上位者で専業主婦の母親で育った子どもたちは家事に関心をもつ傾向にあると言えそうである。しかしこの傾向は将来もずっと継続するのだろうか。

また図III-4は性役割の受容度である。男子がまた「男性」に生まれ変わりたい割合は87%、一方女子が生まれ変わっても女性を希望する割合は55%。女子のほうが性役割の受容度が低い傾向にある。

表III-4 欲しい子どもの人数×母親の職業

| 母親の職業<br>子どもの人数 | 女 子      |           |            |                 | 男 子      |           |            |                 | (%) |
|-----------------|----------|-----------|------------|-----------------|----------|-----------|------------|-----------------|-----|
|                 | 専業<br>主婦 | フル<br>タイム | パート<br>タイム | 自営業<br>の<br>手伝い | 専業<br>主婦 | フル<br>タイム | パート<br>タイム | 自営業<br>の<br>手伝い |     |
| 0人(いらない)        | 7.2      | 10.0      | 4.7        | 15.7            | 9.2      | 2.1       | 3.2        | 13.8            |     |
| 1人              | 5.1      | 8.6       | 7.4        | 4.3             | 7.9      | 22.9      | 21.6       | 15.5            |     |
| 2人              | 64.5     | 57.1      | 65.0       | 55.7            | 68.4     | 52.0      | 64.0       | 60.4            |     |
| 3人              | 20.3     | 21.4      | 22.5       | 24.3            | 13.2     | 18.8      | 7.2        | 8.6             |     |
| 4人以上            | 2.9      | 2.9       | 0.4        | 0.0             | 1.3      | 4.2       | 4.0        | 1.7             |     |

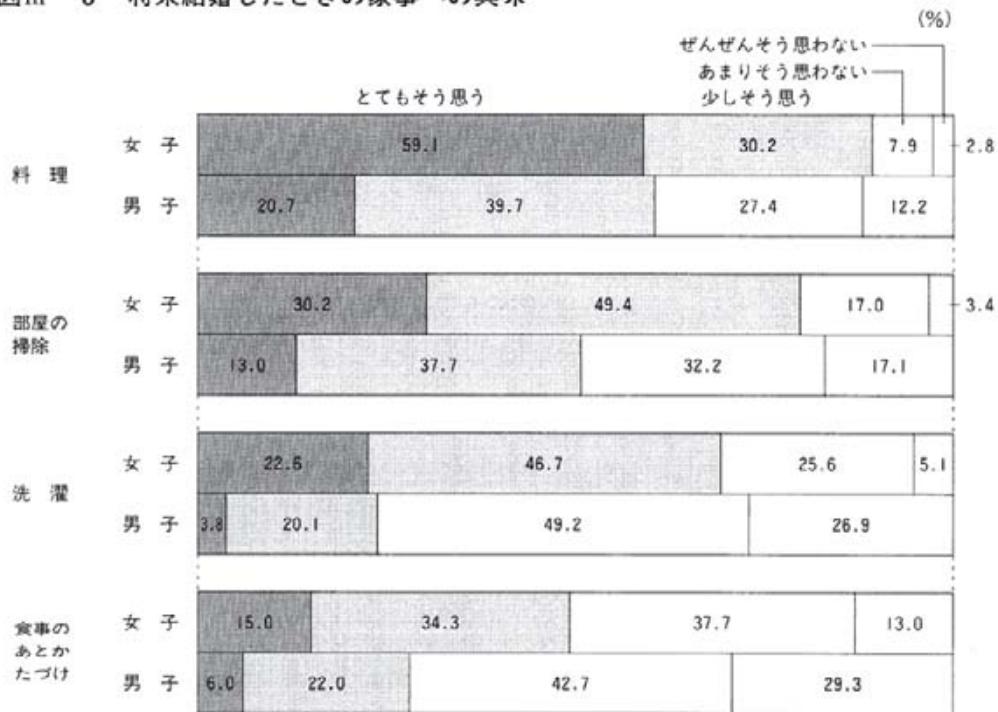


表III-5 結婚して子どもが生まれた後の希望のライフ・コース×母親の職業

| 母親の職業<br>希望の<br>ライフ・コース       | 女 子      |           |            |             | 男 子      |           |            |             |
|-------------------------------|----------|-----------|------------|-------------|----------|-----------|------------|-------------|
|                               | 専業<br>主婦 | フル<br>タイム | パート<br>タイム | 自営業<br>の手伝い | 専業<br>主婦 | フル<br>タイム | パート<br>タイム | 自営業<br>の手伝い |
| 専業主婦                          | 42.3     | 14.3      | 21.5       | 35.2        | 56.2     | 38.3      | 30.8       | 44.1        |
| 子どもが大きくなるまでは<br>専業主婦、その後仕事をする | 48.9     | 64.3      | 67.8       | 40.9        | 39.7     | 53.2      | 63.4       | 47.4        |
| ずっと仕事を続ける                     | 8.8      | 21.4      | 10.7       | 23.9        | 4.1      | 8.5       | 5.8        | 8.5         |

(女子は結婚後の自分自身の希望のライフ・コース  
男子は結婚した相手の女性への希望のライフ・コース)

図III-3 将来結婚したときの家事への興味



表III-6 家事への興味×成績

| 成績<br>家事への興味 | 女子     |        |        |          | 男子     |      |      |          | 「とても興味がもてる」割合<br>○は最大値 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|--------|------|------|----------|------------------------|
|              | 上      | 中の上    | 中      | 中の下<br>下 | 上      | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 |                        |
| 料理           | 61.2   | (61.7) | 59.4   | 56.8     | (28.6) | 27.1 | 10.4 | 23.7     |                        |
| 部屋の掃除        | 32.0   | 24.8   | (32.6) | 30.2     | (24.1) | 16.9 | 9.6  | 12.2     |                        |
| 洗濯           | (26.5) | 21.1   | 21.0   | 23.6     | (17.2) | 3.4  | 1.7  | 2.2      |                        |
| 食事のあとかたづけ    | 16.3   | (19.5) | 12.9   | 14.1     | (17.2) | 3.4  | 7.0  | 4.3      |                        |

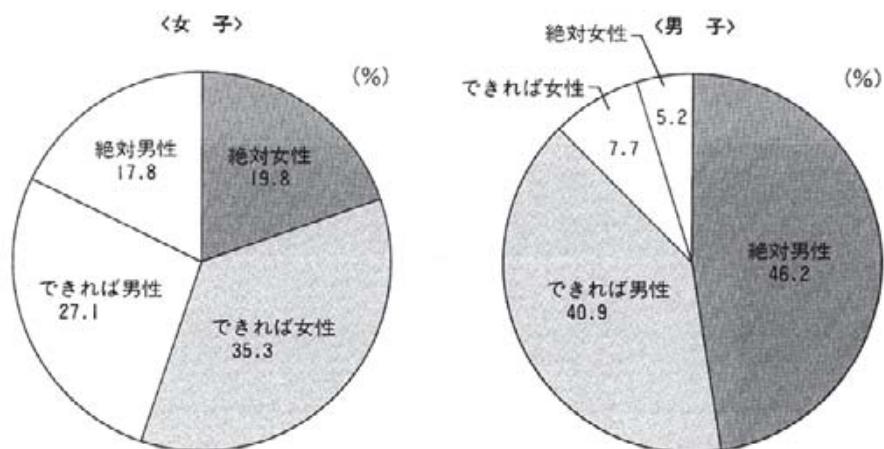
表III-7 家事への興味×母親の職業

| 母親の職業<br>家事への興味 | 女 子    |       |        |         | 男 子    |       |        |         | (%) |
|-----------------|--------|-------|--------|---------|--------|-------|--------|---------|-----|
|                 | 専業主婦   | フルタイム | パートタイム | 自営業の手伝い | 専業主婦   | フルタイム | パートタイム | 自営業の手伝い |     |
| 料理              | (64.5) | 59.2  | 57.9   | 55.6    | (22.4) | 12.0  | 20.8   | 20.7    |     |
| 部屋の掃除           | 25.4   | 21.1  | (32.6) | 29.2    | (14.5) | 12.0  | 13.6   | 6.9     |     |
| 洗濯              | (24.1) | 19.7  | 21.5   | 19.4    | 3.9    | 2.0   | (4.8)  | 1.7     |     |
| 食事のあとかたづけ       | (17.6) | 11.3  | 16.5   | 8.3     | (6.6)  | 4.0   | 6.4    | 5.2     |     |

「とても興味がもてる」割合

( )は最大値

図III-4 性役割受容（生まれ変わることができるなら）



### 3. 家族——父と母と自分

これまで高校生の描く将来の家庭像をみてきたが、ここでは現在自分がいる家庭の人間関係を彼らがどうみているか明らかにしてゆきたい。

図III-5は「両親の仲のよさ」をたずねた結果である。「両親はとても仲がよい」とする女子は47%、男子は39%。「少し」を含めると男女とも約8割の者が肯定している。図は省略したが「家族の思いやり」でも、ほぼ同様の傾向が示されている。

では具体的に、生徒の両親はどんな人柄であって、子どもからどう評価されている存在なのだろうか。図III-6に示したように、全体として両親の人柄についてはそれほどの差がなく、父も母も「一生懸命に働き(とても・少しを合わせて父親=男子85%、女子88%・母親=男子90%、女子94%)」「自分の考えをしっかり持っている(同:父親=男子70%、女子73%・母親=男子76%、女子84%)」と人間としての評価はかなりのものである。したがって表III-8に示したように最もストレートに母親を採点させると、平均を60点とした場合、平均が2割、平均以上が7割と大変高い評価になっている。性別をみると、女子のほうが男子よりやや母親に高得点を与えてい

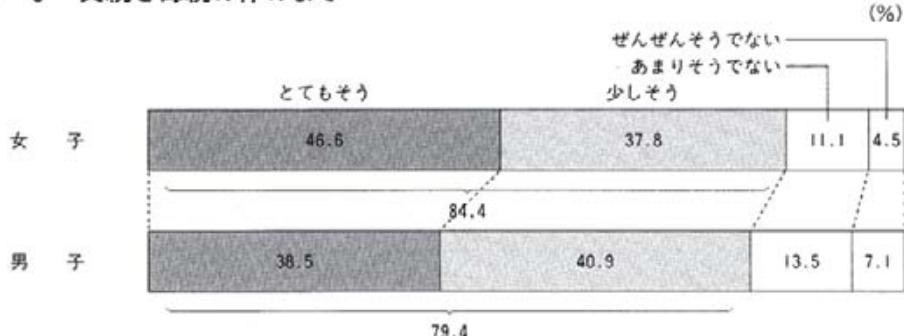
る傾向が見いだされる。

なお生徒の成績との関連は見いだされなかつたが、母親の職業との関連では、表III-9に示したように、女子ではフルタイム勤務の母親にやや「平均以下」の評価が多く、男子はフルタイム勤務に加え、専業主婦に対する評価もやや低くなっていることがわかる。

さて、子どもがセルフ・エスティームを形成する際に、他者、とくに両親からの評価や受容が大きな要因となって働くとされている。それとの関連で図III-7は「両親にとって子ども(自分)を育てることは生きがいなのか」をたずねた結果をみてみよう。図が示すように、生きがいの一部とはなってはいても「生きがいのほとんど」になっている場合は少ない。第II章図II-11に戻れば、母親世代に比べて現代の高校生は自分を親の人生の中での生きがいとして位置づけ、自分を認識することはむずかしくなっている様子がみられる。子どもにとって心理的負担も少ない代わり、セルフ・エスティームも確立しにくい時代になってきていると思われる。

以上のような家族・両親へのイメージ、母親への評価の結果をふまえて、彼らは自分自身をどうとらえ、その結果どのくらい「受け

図III-5 父親と母親の仲のよさ



入れている（自己受容している）」のだろうか。表III-10は自己受容の結果を測定する項目として、「あなたはご自分を好きですか」の表現を用いてたずねた結果である。表が示すように「とても気に入らない（好きでない）自分」は女子で10%、男子で13%。「いくつかの欠点が気になってあまり好きな自分ではない自分」（女子40%、男子32%）を合わせると約5割の者が自己に否定的である。「自分で自分が大好きである」「欠点はあるが、全体としてはかなり自分に満足している」は男女とも約1割だが、セルフ・エスティームの概念を考えると「まあまあの自分」くらいの受容度で十分と考えられるので、それを含めると自己受容のできている者は約半数、多少男子にその率が高い傾向が見いだされる。

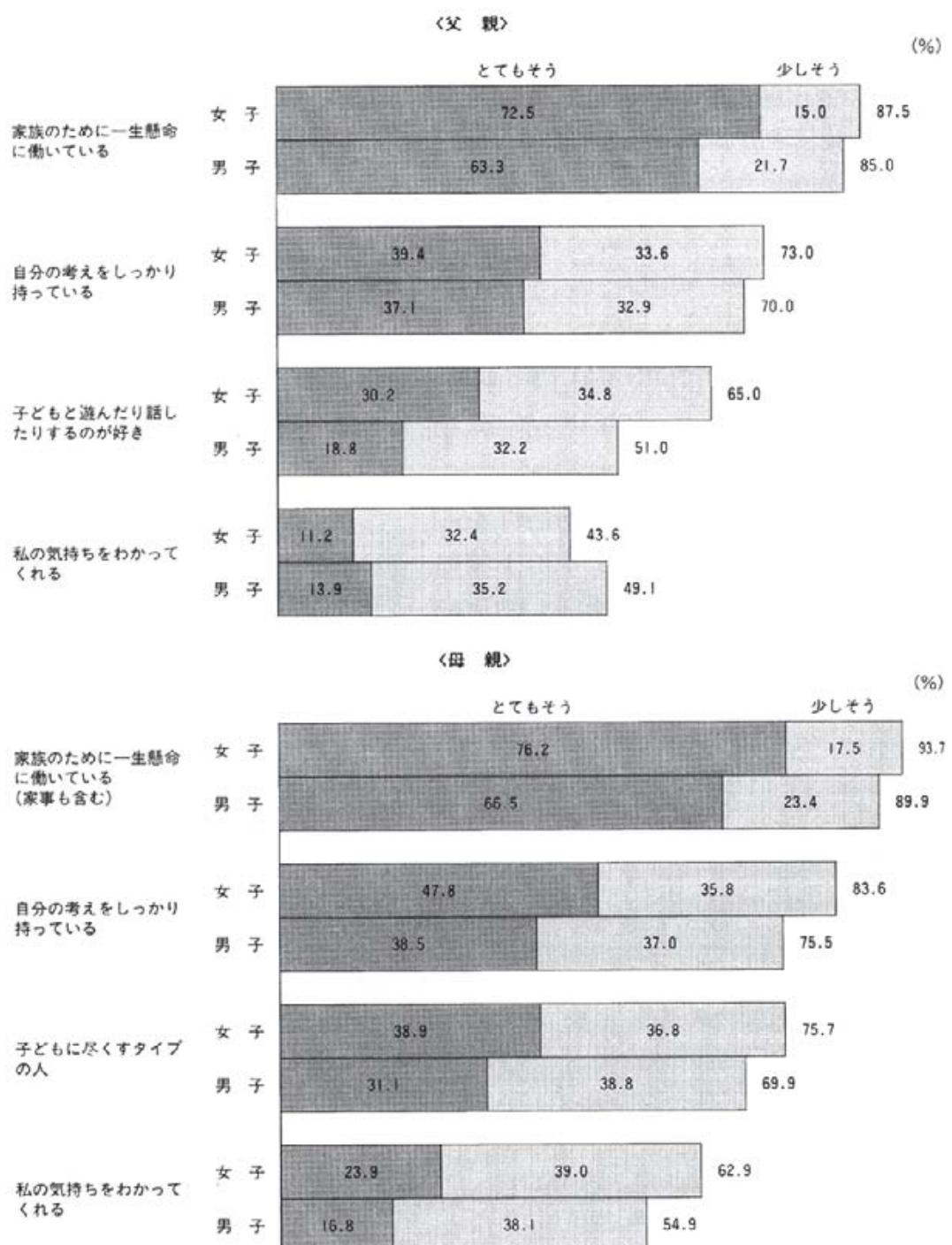
では両親に対してはどうか。表III-11は自己受容と他者受容（父親・母親を好きか）の比較である。女子にとって最も受容的（好意的）なのは自分の母親に対してであり、「まあまあ」を含めると受容率は91%、次が父親で77%、最後に自分で49%となっている。男子にとっても母親86%、父親83%、自分で56%と

同様の傾向がみられる。この順位は母親群でも同様であった（図II-15）。

もう少し数値を追ってみよう。表III-12は他者受容と自己受容の関係をみたものである。表III-12によれば、男女とも自己の受容度が高いほど母親に好意的に、自己の受容度が低くなるほど母親に否定的である。表は省略したが、父親についても同様の傾向が示されている。すなわち自分を「大好き」とまではいかなくても「いくつかの欠点はあるがまあまあの自分である」として自己受容できる者は、他者に対しても暖かく好意的（肯定的）な態度で行動することができると解釈できる。

次に表III-13は、自己受容と成績の関係を示したものである。男子は、最も自己受容度が高く自己に肯定的な群には、成績の上位者が突出して多く、自己受容度が否定的な群ではそれほど密接な関係は見いだされない。これに対して女子は自己に否定的な群では、成績の上位者より下位者の割合が多い。最近の子どもたちにとって、学業成績がセルフ・エスティームの中核をなすと指摘されていることにも思い当たる結果である。

図III—6 両親の人柄



表III-8 母親の評価（高校生にとってお母さんは何点か）

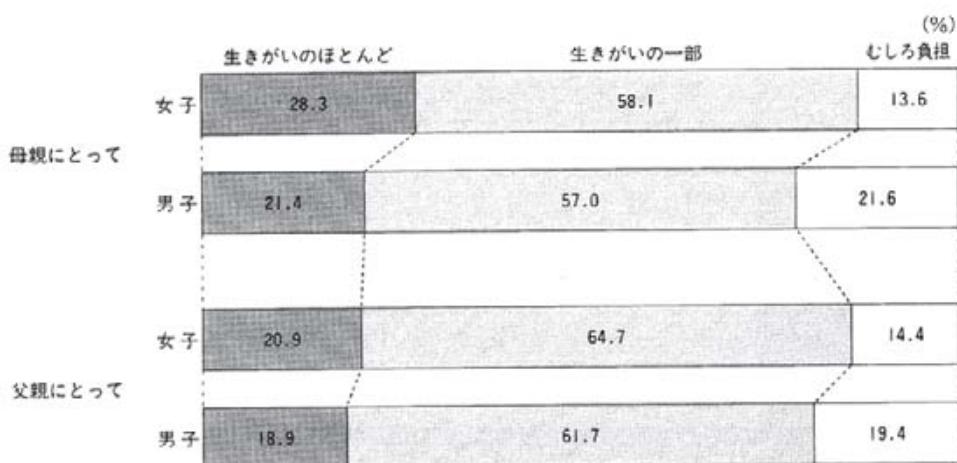
|     | 100点 | 90点  | 80点  | 70点  | 60点  | 50点 | 40点 | 30点 | (%) |
|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 全 体 | 6.7  | 21.5 | 23.1 | 16.7 | 19.1 | 7.2 | 3.1 | 2.6 |     |
|     |      |      |      | 68.0 |      |     |     |     |     |
| 女 子 | 7.6  | 26.2 | 24.2 | 15.2 | 14.4 | 7.3 | 3.2 | 1.9 |     |
|     |      |      |      | 73.2 |      |     |     |     |     |
| 男 子 | 5.3  | 12.8 | 21.1 | 19.4 | 27.5 | 6.9 | 3.1 | 3.9 |     |
|     |      |      |      | 58.6 |      |     |     |     |     |

(60点を普通のお母さんとする)

表III-9 母親の評価×母親の職業

| 母親の職業<br>母親の評価 | 女 子  |       |        |         | 男 子  |       |        |         | (%) |
|----------------|------|-------|--------|---------|------|-------|--------|---------|-----|
|                | 専業主婦 | フルタイム | パートタイム | 自営業の手伝い | 専業主婦 | フルタイム | パートタイム | 自営業の手伝い |     |
| 100点           | 9.4  | 5.7   | 7.8    | 5.5     | 6.7  | 2.1   | 6.7    | 5.2     |     |
| 90点            | 31.3 | 25.8  | 25.8   | 19.1    | 9.3  | 10.6  | 10.8   | 15.5    |     |
| 80点            | 21.0 | 21.4  | 29.2   | 24.7    | 22.7 | 29.9  | 19.2   | 22.4    |     |
| 70点            | 13.0 | 10.0  | 13.3   | 24.7    | 16.0 | 14.9  | 25.8   | 15.5    |     |
| 60点平均          | 15.2 | 15.7  | 13.7   | 15.1    | 25.3 | 25.5  | 27.5   | 32.9    |     |
| 50点            | 5.8  | 8.6   | 7.4    | 6.8     | 12.0 | 8.5   | 3.3    | 3.4     |     |
| 40点            | 1.4  | 10.1  | 11.4   | 21.4    | 2.0  | 10.2  | 2.7    | 10.9    |     |
| 30点以下          | 2.9  | 1.4   | 0.8    | 1.4     | 4.0  | 6.4   | 5.0    | 1.7     |     |

図III-7 両親にとって子ども（自分）を育てることは生きがいか



表III-10 自己受容（自分が好きか）

|                                   | 女 子          | 男 子          |
|-----------------------------------|--------------|--------------|
| 自分で自分を大好きである                      | 3.9          | 4.6          |
| 欠点はあるが、全体としてはかなり満足している<br>(好きである) | 7.6<br>49.3  | 9.9<br>55.5  |
| いくつか欠点はあるが、まあまあの自分だと思う            | 37.8         | 41.0         |
| いくつかの欠点が気になって、あまり好きな自分ではない        | 40.3<br>50.7 | 31.9<br>44.5 |
| 欠点だらけで、とても気に入らない(好きでない)自分         | 10.4         | 12.6         |

表III-11 自己受容と他者受容（自分と父と母）

|          | 女 子  |                    |      | 男 子  |                    |      | (%) |
|----------|------|--------------------|------|------|--------------------|------|-----|
|          | 自 分  | 父 母                | 母 母  | 自 分  | 父 母                | 母 母  |     |
| とても好き    | 3.9  |                    |      | 4.6  |                    |      |     |
| かなり好き    | 7.6  | 11.5 < 42.2 < 59.6 |      | 9.9  | 14.5 < 31.5 < 35.4 |      |     |
| まあまあ     | 37.8 | 34.7               | 31.4 | 41.0 | 51.4               | 50.5 |     |
| あまり好きでない | 40.3 | 50.7 > 23.1 > 9.0  |      | 31.9 | 44.5 > 17.1 > 14.1 |      |     |
| とても嫌い    | 10.4 |                    |      | 12.6 |                    |      |     |

表III-12 他者受容（母親が好きか）×自己受容（自分が好きか）

| 自分が<br>母親が        | 女 子          |              |              |           | 男 子              |              |              |           | (%) |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|-----------|------------------|--------------|--------------|-----------|-----|
|                   | とても好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い | とても<br>好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い |     |
| とても好き             | 34.2         | 25.3         | 15.8         | 15.2      | 16.7             | 8.1          | 6.7          | 4.3       |     |
| 好 き               | 42.5         | 39.8         | 37.7         | 30.3      | 42.5             | 24.3         | 28.6         | 10.6      |     |
| まあまあの母親           | 19.2         | 26.6         | 36.5         | 42.4      | 37.0             | 54.8         | 52.1         | 51.0      |     |
| あまり好きでない<br>とても嫌い | 4.1          | 8.3          | 10.0         | 12.1      | 3.8              | 12.8         | 12.6         | 34.1      |     |

表III-13 自己受容（自分が好きか）×成績

| 成績<br>自分が   | 女子   |      |      |          | 男子   |      |      |          | (%) |
|-------------|------|------|------|----------|------|------|------|----------|-----|
|             | 上    | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 | 上    | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 |     |
| とても好き<br>好き | 10.0 | 13.6 | 11.6 | 10.5     | 30.0 | 13.1 | 13.1 | 12.5     | ←   |
| まあまあの自分     | 48.0 | 43.3 | 35.9 | 34.0     | 30.0 | 42.7 | 47.5 | 37.5     |     |
| あまり好きでない    | 34.0 | 34.8 | 41.7 | 43.5     | 26.7 | 34.4 | 29.8 | 34.6     | →   |
| とても嫌い       | 8.0  | 8.3  | 10.8 | 12.0     | 13.3 | 9.8  | 9.6  | 15.4     | →   |

## 4. 高校生の中にある「親(おや)準備性」――

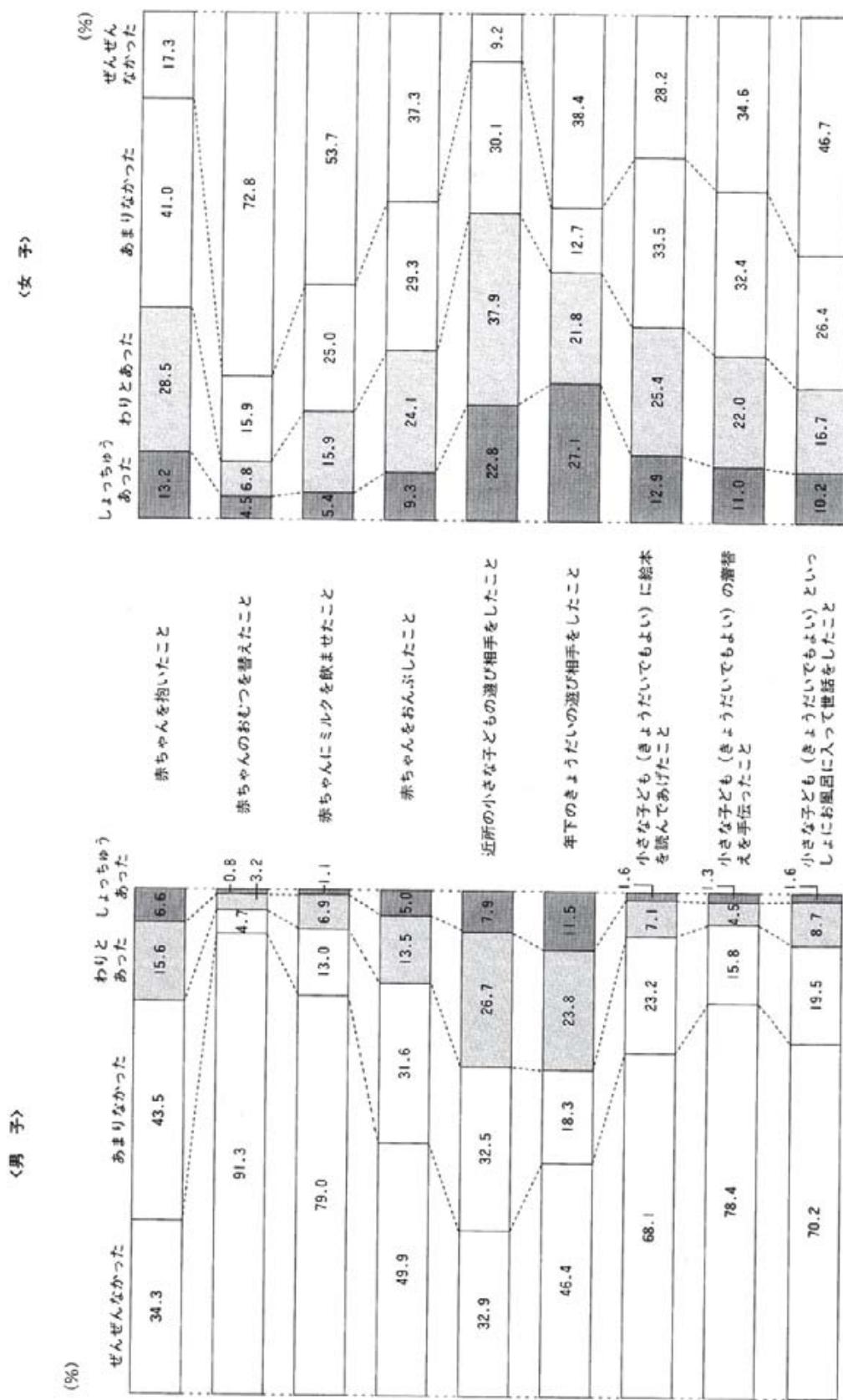
第II章で検討したきた母親の中にある「親(おや)性」の構成領域「子どもへの関心」「援助性」「情緒の安定性」「自己受容」は高校生の中にはどのくらい準備されているのだろうか。自己受容については、すでに表III-10、11、12、13で検討してきた。したがって本節では「子どもへの関心」「援助性」「情緒の安定性」の3領域について検討してゆきたい。

まず高校生は「子どもへの関心」をどのくらいもっているか。第I章図I-1には「子どもへの関心」の形成要因の1つとして「子どもとの接触経験」「末っ子との年齢差」があげられているが、ここではまず「子どもとの接触経験」を手がかりにみてゆきたい。図III-8は高校生が過去にどのくらい赤ちゃんや小さな子どもに接触したかその経験をたずねたものである。近所の小さな子どもや年下の子どもとの「遊び相手」の経験はあるものの、赤ちゃんの世話や小さな子どもの世話はしたことがないようだ。これは表III-1でも示したように、家族の中に小さな子どもや赤ちゃん

がいないことが大きな原因と思われる。また図III-9で性別の比較をした。「ショッちゅう・わりとあった」経験は、女子のほうにも決して多いとは言えないが、男子はそれよりはるかに少なく、結婚後、自分の子どもの扱いに、こうした時期の体験不足が何らかの問題を生み出さないだろうか。

さて「子どもへの接觸体験」の少ない彼らが、小さな子どもに抱く感情はどんなものなのか。表III-14は各項目についての彼らの気持ちをたずねた結果である。表が示すように、女子はポジティブな項目に肯定率が高いが、男子にはむしろ否定率が高く、これを図示したのが図III-10である。男子と女子との関心の差の大きさに、改めて驚かされる。これが男子の本音か、それとも性役割に縛られて、子どもへの関心を表出できないでいるのか。とにかくこの結果は先にみた「接觸経験」の不足(図III-8)の結果と相まって高校の家庭科で保育領域をどう扱うべきか(男子と女子との関心の差への対応)、またこの差が若

図III-8 子どもとの接触体験



い両親となった後の我が子に対する態度や育児参加へのモチベーションにどう反映するか、さらに追究が必要であろう。

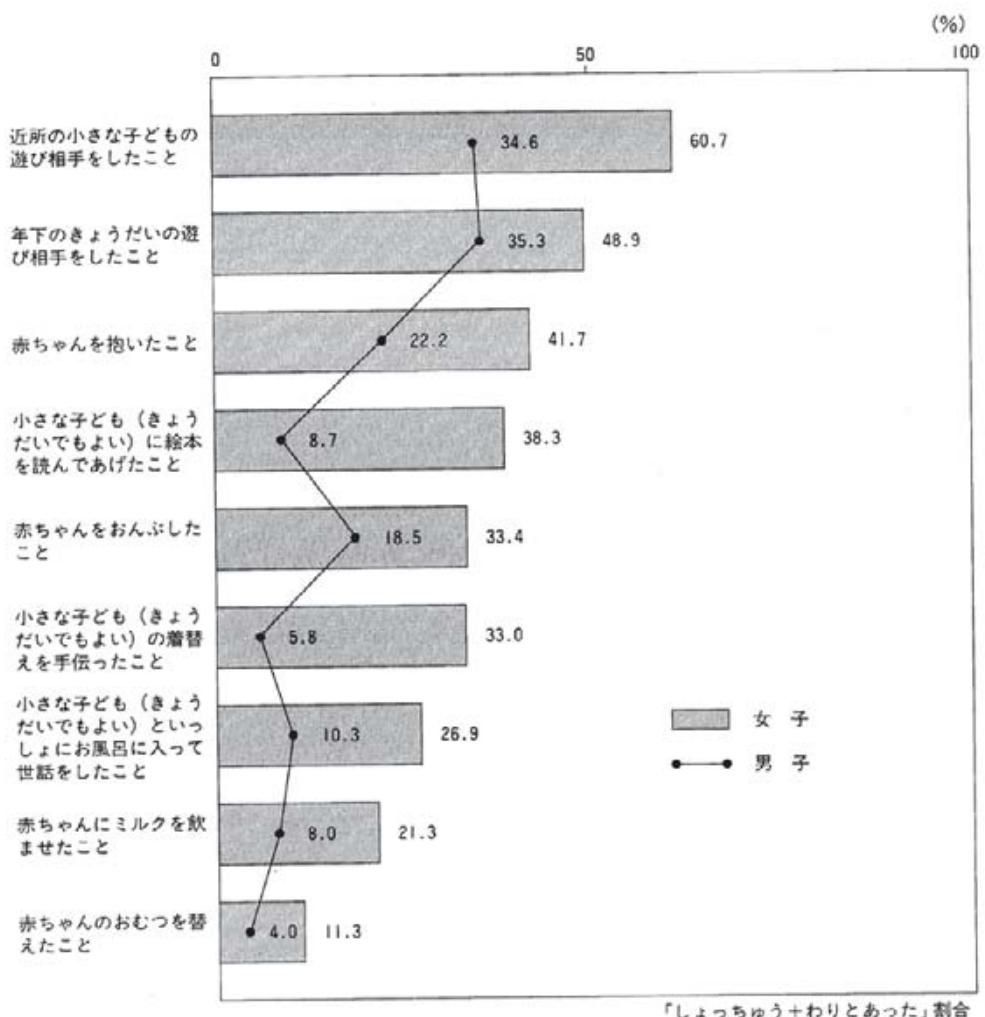
もう少し詳しく数値でみてゆきたい。表III-15は彼らの自己受容との関係をみたものである。男子には一定の傾向がみられないが、女子は自己受容の高い者、すなわち「自分が好きな者」ほど子どもへの関心の強い傾向が見いだされる。これらの項目の中から「子どもと遊んであげるのが好き」「赤ちゃんの泣き声は嫌いだ」の2項目について、さらに詳しく数値を示したのが表III-16、17である。自

己を好意的に受け入れている者ほど「とてもそう思う」、すなわち「子どもへの関心」の高い傾向が明確に示されている。

次は「援助性」についてみてゆこう。他人が援助や優しさを求めているときに、多少の犠牲を払ってもそれに応えようとするかを見たものだ。(ただし、この項目はとくに価値の方向がわかるので、望ましさによって反応されている可能性もふまえて、データを扱ってゆく必要もありそうだ。)

表III-18は6つの場面を用意して、それについて答えさせてある。全体として女子のは

図III-9 子どもとの接触体験×性別



うに援助性の高い傾向がみられる。

また、母親との比較をしたのが表III-19である。「きっとそうする」の割合をみたものだが、母親世代との間に大きい差が見いだされる。それが世代差なのか、加齢による特徴なのか、さらに追究したい点であろう。

これを成績との関連でみたのが表III-20である。女子は成績と援助性の関連に一貫した傾向が見いだせないが、男子では成績上位群がすべての項目で「きっとそうする」と答えている。本当だらうか。実際の場面でもはたして成績のよい男子がそう行動しているのだろうか。

また、表III-21では社会的安定感と自己安定感との関連をみてみた。「たいていの人から好かれている」「私は役に立たない人間だと思う」の2項目を用いて表の下部に示した方法で、安定感の高い群と低い群とに分け、「きっとそうするだろう」の割合を掲げた。○印(数値の大きいほう)の並び方をみても、男子も女子も自己安定感の高い者、すなわちセルフ・エスティームの高い傾向にある者ほど、他人への援助性が高い傾向が見いだされる。

また表III-22は自己受容との関連である。とくに女子は自分を好きな群(自己受容の

表III-14 子どもへの関心

|                         | (%)       |           |          |                  |                   |           |           |          |                  |                   |
|-------------------------|-----------|-----------|----------|------------------|-------------------|-----------|-----------|----------|------------------|-------------------|
|                         | 女 子       |           |          |                  |                   | 男 子       |           |          |                  |                   |
|                         | とても<br>そう | わりと<br>そう | 少し<br>そう | あまり<br>そうで<br>ない | ぜんぜん<br>そうで<br>ない | とても<br>そう | わりと<br>そう | 少し<br>そう | あまり<br>そうで<br>ない | ぜんぜん<br>そうで<br>ない |
| 赤ちゃんはかわいくて大好きだ          | 51.7      | 25.7      | 13.8     | 6.8              | 2.0               | 9.7       | 28.7      | 33.4     | 22.9             | 5.3               |
| 赤ちゃんを見ていると楽しくなる         | 35.7      | 34.9      | 16.6     | 9.7              | 3.1               | 8.4       | 22.8      | 28.3     | 28.7             | 11.8              |
| 赤ちゃんをだっこしたい             | 28.5      | 29.5      | 18.8     | 17.8             | 5.4               | 5.8       | 8.5       | 22.5     | 46.8             | 16.4              |
| 小さな子どもと遊んであげるのが好きだ      | 24.0      | 30.8      | 20.2     | 18.2             | 6.8               | 4.5       | 14.8      | 26.6     | 38.3             | 15.8              |
| 赤ちゃんの世話をしてみたい           | 23.6      | 23.2      | 22.4     | 21.8             | 9.0               | 1.9       | 4.0       | 19.0     | 47.9             | 27.2              |
| 将来子どもを扱う職業につきたいと思うことがある | 11.8      | 11.1      | 22.0     | 27.9             | 27.2              | 1.1       | 1.9       | 5.6      | 34.5             | 56.9              |
| 赤ちゃんの泣き声は嫌いだ            | 9.4       | 18.0      | 33.4     | 30.6             | 8.6               | 21.5      | 23.1      | 31.0     | 19.7             | 4.7               |
| おむつを替えるのは気持ち悪い          | 6.9       | 12.4      | 34.8     | 35.4             | 10.5              | 22.1      | 21.3      | 33.7     | 19.4             | 3.5               |
| 将来子どもは欲しくない             | 4.8       | 4.8       | 5.9      | 23.5             | 61.0              | 2.9       | 4.0       | 12.0     | 46.3             | 34.8              |
| 小さな子どもに関心がない            | 3.9       | 9.3       | 11.3     | 38.4             | 37.1              | 8.2       | 14.2      | 22.7     | 41.2             | 13.7              |

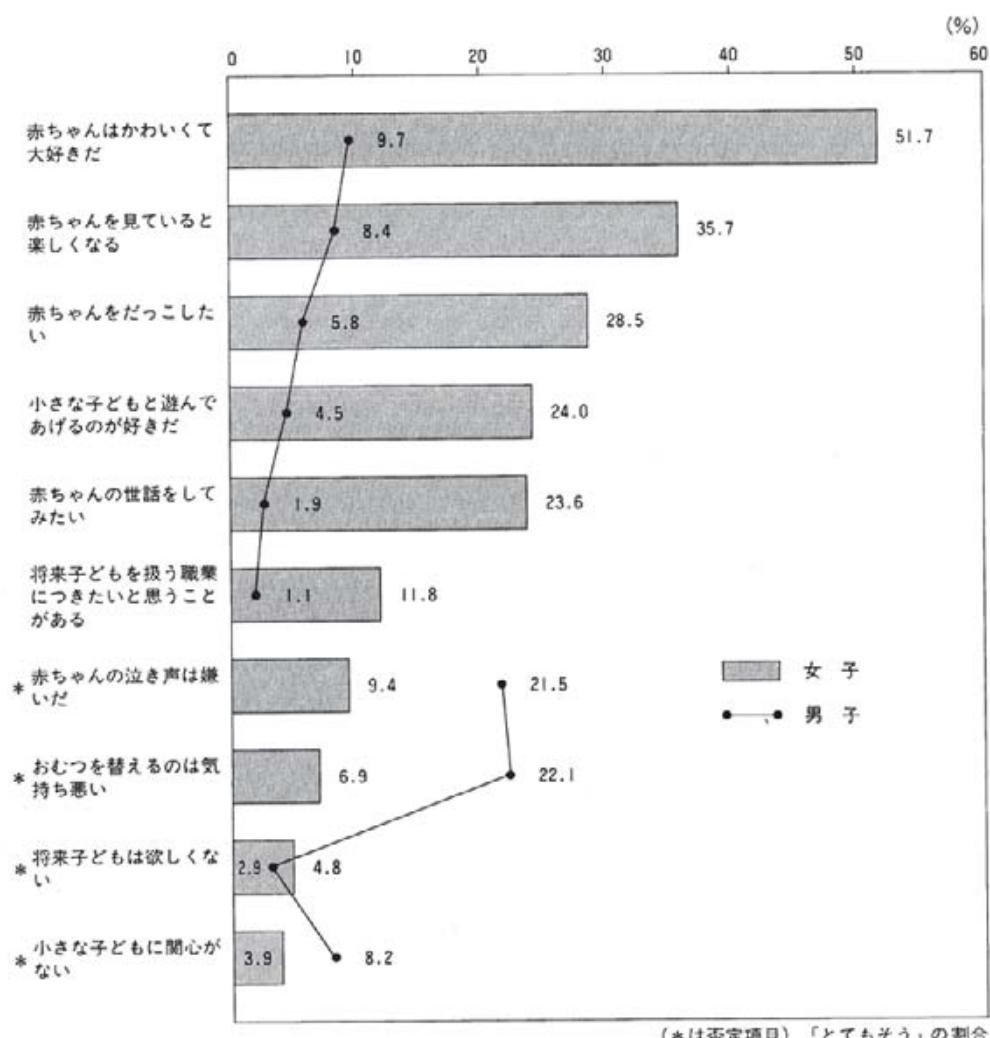
きている者)がどの項目でも最大値を示している。男子は必ずしもそうではないことがわかる。

こうした援助性の背景には、おそらく困っている者や不幸な状態にある者に対して、どのくらい共感できるか、「共感性」の存在があるのではなかろうか。表III-23にそれを示した。ここではどのくらい「かわいそうか」については、援助性ほどの性差が見いだされない。ただし、「かわいそうと思うか」が共感性の尺度としてどのくらい妥当性をもつか、疑問もありそうだ。あわせて表III-24で成績

ごとにみると、やはり表III-20(援助性)での結果と同じく、男子の成績上位群には、「かわいそうだ」とする者の割合が高くなっている。男子の成績上位者は人間性も発達しているのか。それともたてまえの反応なのか、やはり疑問が残る。女子は援助性、共感性の有無が成績に関係なく表の上で散らばっている。

最後に「情緒の安定性」の領域をみてゆきたい。図III-11は自己安定感と性別を示したものである。「他の人にできる辛抱なら自分にもできる」「たいていの知人から好かれている」などの項目で「とても・少しそう」と思

図III-10 子どもへの関心×性別



っている者は約8割。「だれも私を理解してくれない」「ときどき、たまらなく家出したくなる」の項目で「せんぜん・あまりそうでない」と答えた者も約8割と自己安定感の高い傾向があるが、「何かにつけてよく心配する」「体の調子がよくないと気難しくなる」「自分も他人のように幸福だったらなあと思う」「ときどき、物をたたきつけたくなる」などの項目では「とても・少しそう」とあると答えた者が6~7割いる。すなわち高校生は情緒的に安定している部分と、ささいなことで揺れ動く心の不安定さとをあわせて持っている様子がわ

かる。また「ときどき、たまらなく家出したくなる」「体の調子がよくないと、気難しくなる」の2項目では男女差が著しく、女子の不安定傾向を示す数値である。

表III-25は自己安定感と自己受容との関連をみたものである。全体に自分への満足度(自己受容率)が高くなると情緒の安定性も高くなることが見いだされる。表III-26、III-27は11項目の自己安定感を示す項目の中から「たいていの知人から好かれている」「私は役に立たない人間だなあとつくづく思う」の2項目について詳しい数値を示したものである。

表III-15 子どもへの関心×自己受容(自分が好きか)

| 自分が<br>子どもへの関心          | (%)         |             |              |           |             |             |              |           |
|-------------------------|-------------|-------------|--------------|-----------|-------------|-------------|--------------|-----------|
|                         | 女 子         |             |              |           | 男 子         |             |              |           |
|                         | とても好き<br>好き | まあまあの<br>自分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い | とても好き<br>好き | まあまあの<br>自分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い |
| 赤ちゃんを見ていると楽しくなる         | 48.6        | 34.0        | 33.1         | 35.8      | 13.0        | 6.5         | 6.7          | 10.6      |
| 赤ちゃんはかわいくて大好きだ          | 56.9        | 49.6        | 54.1         | 43.3      | 14.8        | 7.2         | 8.5          | 14.9      |
| 赤ちゃんをだっこしたい             | 39.7        | 25.9        | 28.7         | 22.7      | 9.3         | 4.6         | 2.5          | 12.8      |
| 小さな子どもと遊んであげるのが好きだ      | 36.4<br>←   | 23.0        | 22.7         | 17.9      | 11.1        | 3.3         | 1.7          | 6.4       |
| 赤ちゃんの世話をしてもみたい          | 30.1<br>←   | 22.6        | 24.6         | 13.6      | 1.9         | 2.0         | 1.7          | 2.1       |
| 将来子どもを扱う職業につきたいと思うことがある | 16.2<br>←   | 11.9        | 10.8         | 10.4      | 0.0         | 0.7         | 0.0          | 6.4       |
| 赤ちゃんの泣き声は嫌いだ            | 8.1         | 7.4         | 10.0         | 16.4      | 11.1        | 20.3        | 26.0         | 23.4      |
| おむつを替えるのは気持ち悪い          | 6.8         | 5.8         | 6.3          | 12.1      | 15.1        | 24.5        | 23.7         | 19.1      |
| 将来子どもは欲しくない             | 5.5         | 4.6         | 3.1          | 11.9      | 5.6         | 3.3         | 0.9          | 2.1       |
| 小さな子どもに関心がない            | 5.4         | 3.7         | 3.5          | 4.5       | 5.6         | 6.6         | 10.9         | 6.4       |

「とてもそう」の割合

2項目とも性別に関係なく、自己受容度（自分が好き）の高い者は、自己安定感も高くなる傾向が見いだされる。すなわち、自己受容

の高さは情緒の安定性を形成する重要な要因と言えるだろう。

表III-16 子どもへの関心（子どもと遊んであげるのが好き）×自己受容（自分が好きか）

| 自分が<br>子どもへ<br>の関心 |  | 女 子          |              |              |           | 男 子          |              |              |           | (%) |
|--------------------|--|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-----------|-----|
|                    |  | とても好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い | とても好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い |     |
| とてもそう              |  | 36.4         | 23.0         | 22.7         | 17.9      | 11.1         | 3.3          | 1.7          | 6.4       |     |
| わりとそう              |  | 29.7         | 33.8         | 30.4         | 23.9      | 24.1         | 13.1         | 11.9         | 17.0      |     |
| 少しそう               |  | 12.2         | 18.5         | 24.2         | 20.9      | 18.5         | 26.8         | 29.7         | 27.7      |     |
| あまりそうでない           |  | 14.9         | 18.9         | 16.2         | 26.9      | 35.2         | 39.8         | 41.4         | 29.8      |     |
| ぜんぜんそうでない          |  | 6.8          | 5.8          | 6.5          | 10.4      | 11.1         | 17.0         | 15.3         | 19.1      |     |

表III-17 子どもへの関心（赤ちゃんの泣き声は嫌いだ）×自己受容（自分が好きか）

| 自分が<br>子どもへ<br>の関心 |  | 女 子          |              |              |           | 男 子          |              |              |           | (%) |
|--------------------|--|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-----------|-----|
|                    |  | とても好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い | とても好き<br>好 き | まあまあの<br>自 分 | あまり<br>好きでない | とても<br>嫌い |     |
| とてもそう              |  | 8.1          | 7.4          | 10.0         | 16.4      | 11.1         | 20.3         | 26.0         | 23.4      |     |
| わりとそう              |  | 14.9         | 15.2         | 20.0         | 23.9      | 24.1         | 26.1         | 21.0         | 19.1      |     |
| 少しそう               |  | 28.4         | 35.6         | 35.4         | 23.9      | 35.1         | 34.0         | 25.2         | 29.9      |     |
| あまりそうでない           |  | 36.4         | 31.1         | 29.6         | 25.4      | 24.1         | 15.7         | 24.4         | 19.1      |     |
| ぜんぜんそうでない          |  | 12.2         | 10.7         | 5.0          | 10.4      | 5.6          | 3.9          | 3.4          | 8.5       |     |

表III-18 援助性

|   | 女子                 |                    |                     |                     | 男子                 |                    |                     |                     | (%) |
|---|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----|
|   | きっと<br>そうする<br>だろう | たぶん<br>そうする<br>だろう | たぶん<br>そうしない<br>だろう | きっと<br>そうしない<br>だろう | きっと<br>そうする<br>だろう | たぶん<br>そうする<br>だろう | たぶん<br>そうしない<br>だろう | きっと<br>そうしない<br>だろう |     |
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としてしまったのを見て、拾ってあげる              | 61.3               | 35.8               | 2.6                 | 0.3                 | 28.5               | 49.6               | 18.4                | 3.5                 |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前に立っている妊娠さんに席をゆずってあげる          | 36.9               | 42.3               | 19.3                | 1.5                 | 25.6               | 42.6               | 25.9                | 5.9                 |     |
| 駅であまり時間がないので急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていってあげる | 16.5               | 39.2               | 37.7                | 6.6                 | 7.3                | 28.0               | 51.0                | 13.7                |     |
| 老人が荷物を重そうに持って階段を上がるのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる            | 7.7                | 44.6               | 43.8                | 3.9                 | 7.5                | 37.2               | 44.2                | 11.1                |     |
| 交差点で目の見えない杖をついた人を見たら手を引いてあげる                          | 7.1                | 29.7               | 54.8                | 8.4                 | 5.2                | 24.3               | 54.5                | 16.1                |     |
| お金にはならないが、遇に一度身体の不自由な人の世話をしてあげる                       | 4.5                | 21.6               | 54.0                | 19.9                | 3.5                | 15.4               | 53.5                | 27.6                |     |

表III-19 援助性（高校生とその母親）

|   | 高校生の母親 | 高校生（女子） | 高校生（男子） | (%) |
|---|--------|---------|---------|-----|
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としてしまったのを見て、拾ってあげる              | 62.6   | 61.3    | 28.5    |     |
| 老人が荷物を重そうに持って階段を上がるのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる            | 46.8   | 7.7     | 7.5     |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前に立っている妊娠さんに席をゆずってあげる          | 37.5   | 36.9    | 25.6    |     |
| 駅であまり時間がないので急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていってあげる | 32.8   | 16.5    | 7.3     |     |
| 交差点で目の見えない杖をついた人を見たら手を引いてあげる                          | 29.5   | 7.1     | 5.2     |     |
| お金にはならないが、遇に一度身体の不自由な人の世話をしてあげる                       | 12.7   | 4.5     | 3.5     |     |

「きっとそうするだろう」割合

表III-20 援助性×成績

| 成績<br>援助性  | 女 子  |      |      |          | 男 子  |      |      |          | (%) |
|--|------|------|------|----------|------|------|------|----------|-----|
|  | 上    | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 | 上    | 中の上  | 中    | 中の下<br>下 |     |
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としてしまったのを見て、拾ってあげる             | 61.2 | 58.6 | 61.6 | 61.3     | 44.8 | 40.0 | 24.6 | 27.3     |     |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前に立っている妊婦さんに席をゆずってあげる         | 42.0 | 33.1 | 35.7 | 39.2     | 34.5 | 27.9 | 21.7 | 28.1     |     |
| 駅であまり時間がないので急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんと一緒に連れていってあげる | 20.0 | 14.3 | 17.0 | 17.1     | 13.8 | 4.9  | 8.7  | 6.5      |     |
| 老人が荷物を重そうに持つ階段を上がるのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる            | 4.1  | 6.8  | 6.3  | 10.1     | 17.2 | 6.6  | 6.1  | 7.2      |     |
| 交差点で目の見えない杖をついた人を見たら手を引いてあげる                         | 4.0  | 6.0  | 8.9  | 7.5      | 11.1 | 5.0  | 1.7  | 7.2      |     |
| お金にはならないが、週に一度身体の不自由な人の世話ををしてあげる                     | 0.0  | 5.3  | 3.6  | 6.0      | 13.8 | 3.3  | 2.6  | 2.2      |     |

「きっとそうするだろう」割合

○は最大値

表III-21 援助性×自己安定感

[A たいていの人から好かれている]  
 [B 私は役に立たない人間だと思う]

(%)

| 援助性  | 自己安定感 | 女 子           |        | 男 子           |       |
|--|-------|---------------|--------|---------------|-------|
|  |       | 自己安定感の<br>高い群 | 低い群    | 自己安定感の<br>高い群 | 低い群   |
| 前を歩いている人が買い物の荷物を<br>バラバラと落としてしまったのを見て、拾ってあげる           | A     | (62.7)        | 56.5   | (32.2)        | 19.8  |
|  | B     | (63.5)        | 58.9   | (31.6)        | 26.0  |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前に立っている妊婦さんに席をゆずってあげる           | A     | (39.3)        | 31.2   | (31.1)        | 12.3  |
|  | B     | (40.4)        | 33.9   | (28.3)        | 23.6  |
| 駅であまり時間がないので急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れていくつてあげる | A     | 15.9          | (18.8) | (8.2)         | 3.8   |
|  | B     | (18.8)        | 13.7   | (10.4)        | 8.6   |
| 老人が荷物を重そうに持て階段を上るのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる               | A     | (8.2)         | 5.8    | (7.6)         | 6.6   |
|  | B     | (9.1)         | 6.5    | 6.3           | (9.2) |
| 交差点で目の見えない杖をついた人を見たら手を引いてあげる                           | A     | (7.5)         | 6.5    | (6.3)         | 1.9   |
|  | B     | (9.4)         | 4.4    | 5.2           | (5.3) |
| お金にはならないが、遇に一度身体の不自由な人の世話をしてあげる                        | A     | (4.7)         | 4.5    | (4.3)         | 1.9   |
|  | B     | (5.3)         | 3.7    | (4.7)         | 2.3   |

「きっとそうするだろう」割合

A {「とても+少しそう」を自己安定感の高い群  
 「あまり+ぜんぜんそうでない」を自己安定感の低い群  
 B {「あまり+ぜんぜんそうでない」を自己安定感の高い群  
 「とても+少しそう」を自己安定感の低い群

表III-22 援助性×自己受容（自分が好きか）

| 自分が<br>援助性   | (%)         |              |       |             |             |              |       |      |
|--|-------------|--------------|-------|-------------|-------------|--------------|-------|------|
|  | 女 子         |              |       |             | 男 子         |              |       |      |
| とても好き<br>好き  | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌い | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌い |      |
| 前を歩いている人が買い物の荷物をバラバラと落としてしまったのを見て、拾ってあげる             | 68.5        | 63.4         | 56.6  | 62.1        | 35.3        | 28.7         | 21.4  | 36.2 |
| あなたがとても疲れて電車に座っているとき、目の前に立っている妊婦さんに席をゆずってあげる         | 46.6        | 38.5         | 30.5  | 45.5        | 38.5        | 24.7         | 21.2  | 25.5 |
| 駅あまり時間がないので急いでいるとき、迷子で泣いている子どもを見たら駅員さんのところに連れて行ってあげる | 31.5        | 16.0         | 11.6  | 18.2        | 15.4        | 3.3          | 6.8   | 12.8 |
| 老人が荷物を重そうに持つて階段を上がるのを見たら声をかけて、進んで荷物を持ってあげる           | 18.3        | 9.0          | 5.0   | 7.6         | 7.7         | 4.0          | 7.6   | 19.1 |
| 交差点で目の見えない杖をついた人を見たら手を引いてあげる                         | 15.1        | 7.0          | 3.1   | 12.3        | 3.9         | 3.4          | 6.9   | 8.5  |
| お金にはならないが、週に一度身体の不自由な人の世話をしてあげる                      | 8.2         | 4.5          | 3.5   | 3.0         | 5.9         | 3.3          | 1.7   | 6.4  |

「きっとそうするだろう」割合  
○は最大値

表III-23 共感性（かわいそうと思うか）

|                            | (%)                               |                        |                                      |                                      |                                   |                            |                                      |                                      |
|----------------------------|-----------------------------------|------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
|                            | 非常<br>に<br>かわ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | かわ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | 少<br>し<br>か<br>わ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | か<br>わ<br>い<br>そ<br>う<br>で<br>な<br>い | 非常<br>に<br>かわ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | か<br>わ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | 少<br>し<br>か<br>わ<br>い<br>そ<br>う<br>だ | か<br>わ<br>い<br>そ<br>う<br>で<br>な<br>い |
| よく知っている子どもが両親をなくしたのを聞いて    | 77.7                              | 20.5                   | 1.2                                  | 0.6                                  | 60.1                              | 31.5                       | 7.3                                  | 1.1                                  |
| 友だちを助けようとしてともに溺れた子どもの話を聞いて | 58.8                              | 30.0                   | 9.0                                  | 2.2                                  | 42.0                              | 36.0                       | 14.5                                 | 7.5                                  |
| 子どもの家が貧しくてろくに食べさせられない話を聞いて | 50.6                              | 44.6                   | 4.3                                  | 0.5                                  | 37.6                              | 46.8                       | 12.6                                 | 3.0                                  |
| 近所の老人の病気がとても治らないと聞いて       | 27.1                              | 55.2                   | 16.6                                 | 1.1                                  | 21.0                              | 48.3                       | 25.3                                 | 5.4                                  |
| 年をとった浮浪者を見て                | 13.5                              | 28.6                   | 39.5                                 | 18.4                                 | 9.4                               | 21.8                       | 40.8                                 | 28.0                                 |
| 松葉杖をついている人を見て              | 9.2                               | 47.2                   | 38.6                                 | 5.0                                  | 10.5                              | 36.0                       | 41.4                                 | 12.1                                 |

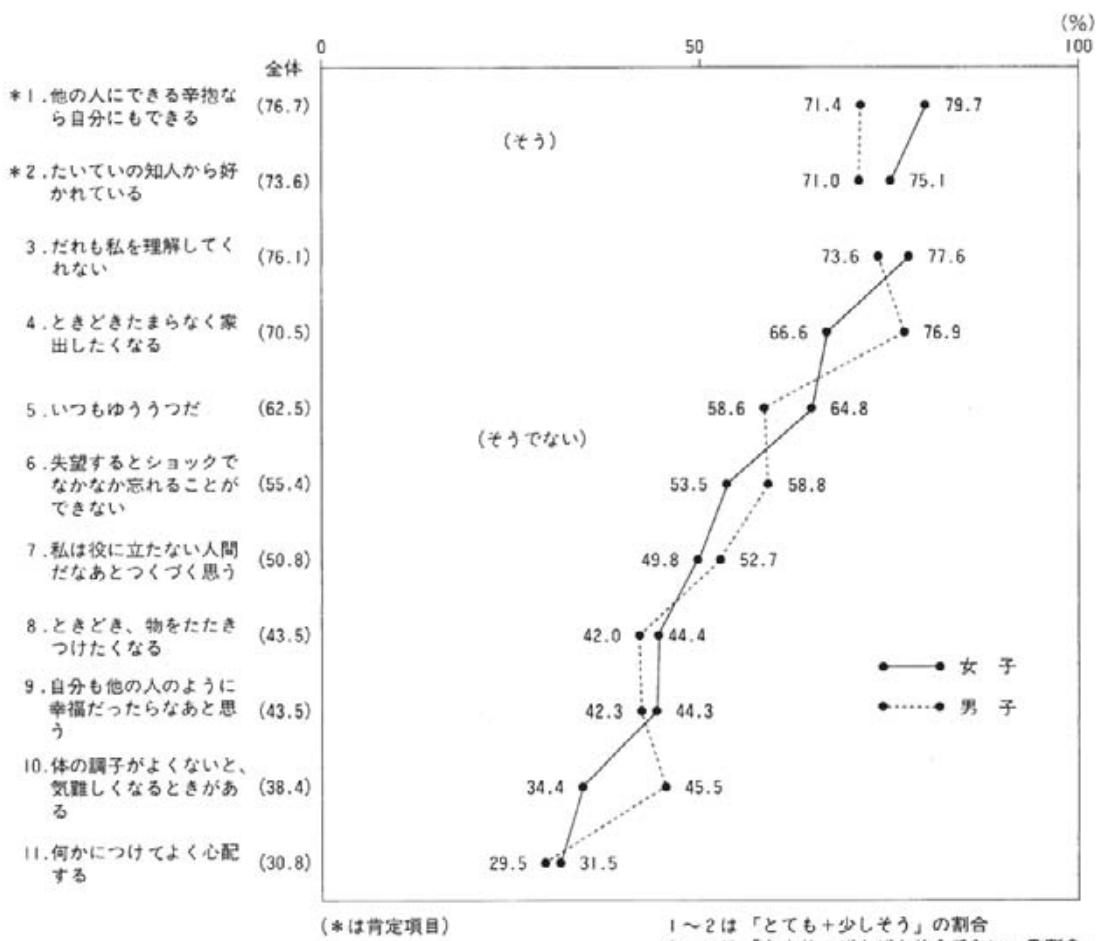
表III-24 共感性（かわいそうと思うか）×成績

| 共感性                        | 成績 | 女子     |        |      |          | 男子     |      |        |          | (%) |
|----------------------------|----|--------|--------|------|----------|--------|------|--------|----------|-----|
|                            |    | 上      | 中の上    | 中    | 中の下<br>下 | 上      | 中の上  | 中      | 中の下<br>下 |     |
| よく知っている子どもが両親をなくしたのを聞いて    |    | (88.0) | 78.2   | 78.1 | 73.7     | (72.4) | 62.3 | 59.1   | 59.0     | ← ← |
| 友だちを助けようとしてともに溺れた子どもの話を聞いて |    | 56.0   | (62.4) | 60.3 | 56.1     | (58.6) | 39.3 | 39.1   | 41.0     |     |
| 子どもの家が貧しくてろくに食べさせられない話を聞いて |    | 44.0   | 50.4   | 50.0 | (52.5)   | (51.7) | 37.7 | 34.8   | 36.7     |     |
| 近所の老人の病気がとても治らないと聞いて       |    | 30.0   | (31.1) | 24.6 | 25.3     | (24.1) | 16.7 | 20.9   | 20.9     |     |
| 年をとった浮浪者を見て                |    | (16.0) | 14.3   | 11.7 | 14.1     | (13.8) | 4.9  | 8.7    | 10.1     |     |
| 松葉杖についている人を見て              |    | (14.0) | 9.8    | 8.5  | 9.1      | 10.3   | 9.8  | (11.3) | 10.1     |     |

「非常にかわいそうだ」の割合

○は最大値

図III-11 自己安定感×性別



表III-25 自己安定感×自己受容（自分が好きか）

(%)

| 自分が<br>自己安定感                | 女 子         |             |              |       | 男 子         |             |              |       |
|-----------------------------|-------------|-------------|--------------|-------|-------------|-------------|--------------|-------|
|                             | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌い | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌い |
| 1. 他の人にできる辛抱なら自分にもできる       | 82.4        | 86.9        | 76.4         | 62.7  | 71.6        | 78.6        | 66.7         | 57.5  |
| 2. たいていの知人から好かれている          | 86.3        | 84.6        | 70.9         | 45.3  | 84.9        | 78.3        | 66.0         | 44.7  |
| 3. だれも私を理解してくれない            | 85.1        | 85.5        | 73.7         | 56.8  | 81.2        | 81.2        | 70.4         | 48.9  |
| 4. ときどき、たまらなく家出したくなる        | 75.7        | 72.4        | 63.0         | 49.2  | 84.9        | 80.7        | 77.6         | 55.3  |
| 5. いつもゆううつだ                 | 81.0        | 75.0        | 55.8         | 43.3  | 76.9        | 60.6        | 53.5         | 42.6  |
| 6. 失望するとショックでなかなか忘れることができない | 75.7        | 55.2        | 48.5         | 42.4  | 79.3        | 61.3        | 51.7         | 44.7  |
| 7. 私は役に立たない人間だなあとつくづく思う     | 72.9        | 67.1        | 34.7         | 17.9  | 73.6        | 64.0        | 40.8         | 21.3  |
| 8. ときどき、物をたたきつけたくなる         | 58.1        | 49.6        | 41.1         | 25.3  | 54.7        | 46.7        | 38.8         | 19.2  |
| 9. 自分も他の人のように幸福だったらなあと思う    | 67.5        | 52.9        | 34.6         | 23.8  | 58.5        | 47.3        | 33.6         | 29.8  |
| 10. 体の調子がよくないと、気難しくなるときがある  | 38.8        | 34.9        | 32.2         | 31.4  | 58.4        | 43.7        | 48.7         | 27.6  |
| 11. 何かにつけてよく心配する            | 52.7        | 34.6        | 23.4         | 29.9  | 34.0        | 35.3        | 22.4         | 23.4  |

1~2は「とても+少しそう」の割合  
 3~11は「あまり+ぜんぜんそうでない」の割合

表III-26 たいていの知人から好かれている（社会的安定感）×自己受容（自分が好きか）

| 社会的安定感<br>自分が | 女 子         |             |              |           | 男 子         |             |              |           | (%) |
|---------------|-------------|-------------|--------------|-----------|-------------|-------------|--------------|-----------|-----|
|               | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌<br>い | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌<br>い |     |
| とてもそう         | 15.1        | 8.1         | 4.0          | 3.1       | 22.6        | 7.4         | 4.3          | 6.4       | ←   |
| 少しそう          | 71.2        | 76.5        | 67.0         | 42.2      | 62.3        | 70.9        | 61.8         | 38.3      |     |
| あまりそうでない      | 13.7        | 14.1        | 26.6         | 42.2      | 13.2        | 20.3        | 28.7         | 40.4      | →   |
| ぜんぜんそうでない     | 0.0         | 1.3         | 2.4          | 12.5      | 1.9         | 1.4         | 5.2          | 14.9      | →   |

表III-27 私は役に立たない人間だなあとつくづく思う（心理的不安定感）  
×自己受容（自分が好きか）

| 心理的不安定感<br>自分が | 女 子         |             |              |           | 男 子         |             |              |           | (%) |
|----------------|-------------|-------------|--------------|-----------|-------------|-------------|--------------|-----------|-----|
|                | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌<br>い | とても好き<br>好き | まあまあ<br>の自分 | あまり好<br>きでない | とても嫌<br>い |     |
| とてもそう          | 6.8         | 4.1         | 12.5         | 31.3      | 5.7         | 8.7         | 13.0         | 44.7      | →   |
| 少しそう           | 20.3        | 28.8        | 52.8         | 50.8      | 20.8        | 27.3        | 46.2         | 34.0      | →   |
| あまりそうでない       | 43.2        | 56.0        | 32.4         | 17.9      | 39.5        | 56.0        | 36.5         | 17.0      |     |
| ぜんぜんそうでない      | 29.7        | 11.1        | 2.3          | 0.0       | 34.0        | 8.0         | 4.3          | 4.3       | ←   |